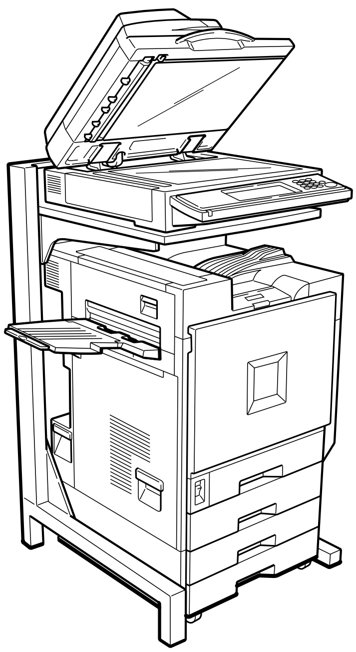
RICOH

IPSiO Color 8150 スキャナーユニット タイプ8100対応版

使用説明書 〈保守・運用編〉



ZFNH011J

ご使用の前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、正しくお使いください。
本書をすぐに利用できるように保管してください。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

株式会社リコー

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず＜安全上のご注意＞をお読みください。

目次

1. 消耗品を交換する

トナーを補給する **3**

2. 清掃・調整する

清掃するときの注意 **7**
レジストローラーを清掃する **8**
防じんガラスを清掃する **10**
原稿ガラスを清掃する **11**
原稿カバーを清掃する **12**
自動原稿送り装置(ADF)をご使用の場合 12
原稿カバーをご使用の場合 12
色ずれを補正する **13**
色ずれ自動補正をする 13
色ずれ手動補正をする 14
定着ユニット調整をする 15
補正シート・調整シートを確認する 17
階調を補正する **18**
自動階調補正を実行する 18
階調補正シートを確認する 20
階調の補正値を初期値に戻すには 20
印刷濃度を調整する **22**
印刷位置を調整をする **24**

3. 原稿について

セットできる原稿のサイズと紙厚 **27**
自動原稿送り装置(ADF)にセットできない原稿 27
自動的に読み取れる原稿サイズ **28**
サイズが読み取りにくい原稿 29
画像欠け範囲 **30**

4. 用紙について

使用できる用紙 **31**
用紙の種類とサイズ 31
用紙をセットする **33**
給紙トレイ（標準)、給紙テーブル（オプション）に用紙をセットする 33
手差しトレイに用紙をセットする 38
用紙に関する注意 **43**
用紙をセットするとき 43
用紙を保管するとき 43
用紙の種類ごとの注意 43
印刷保証範囲 45

5. こんなときには

メッセージが表示されたとき **47**
操作画面に表示されるメッセージ 47
印刷がはじまらないとき **59**
思いどおりに印刷できないとき **61**
つまった用紙を取り除く **66**
2000枚フィニッシャーを脱着する 66
サイド排紙トレイを脱着する 67
両面反転ユニットを開閉する 68
両面搬送ユニットに用紙がつまったとき 69
用紙ミスフィード：Aが表示されているとき 71
用紙ミスフィード：Bが表示されているとき 71
用紙ミスフィード：Rが表示されているとき 73
用紙ミスフィード：Yが表示されているとき 75
用紙ミスフィード：Z1が表示されているとき 75
原稿ミスフィード：Pが表示されているとき 76
ステープラーの針がなくなったとき **79**
ステープラーの針がつまったとき **81**
パンチくずがいっぱいになったとき **83**
パンチくずを廃棄してもメッセージが表示される場合 83

6. 付録

保守・運用について **85**
使用上のお願い 85
保守サービス契約について 86
移動 87
設置環境を確認する 88
電源・アースを確認する 89
廃棄 89
消耗品一覧 **90**
トナーカートリッジ 90
ステープル針 90
用紙 91

索引 **92**

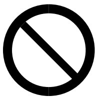
トナーを補給する

⚠警告



- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。保管したトナーは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

⚠注意



- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

⚠注意

- トナー等の消耗品や部品は、リコー指定の製品により安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定のトナー、消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。

補足

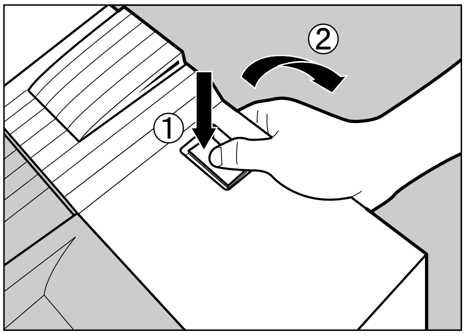
- ❒ トナーの印刷可能ページ数は、目安としてブラックが約20,000ページ、カラーが約10,000ページです。この印刷可能ページ数は、A4 5%チャートを印刷した場合の目安です。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。トナーは使用期間によっても劣化するため、上記ページ数より早く交換が必要になる場合があります。
- ❒ トナー（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡してください。

操作画面に「トナーがなくなりました。トナーを補給してください。」（または「トナーがもうすぐなくなります。トナーを補給してください。」）というメッセージと、残り少なくなったトナーの色が表示されたときは、該当する色のトナーカートリッジを交換してください。

補足

- ❒ 残り少なくなったトナーの色として、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの1〜4色の組み合わせが表示されます。

1 プリンター本体の右上カバーのロックボタンを押しながら（①）、右上カバーを開けます（②）。



ZDJT006J

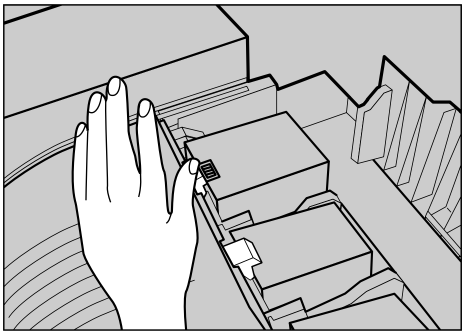
奥から、マゼンタ(M)、シアン(C)、イエロー(Y)、ブラック(K)の順にトナーカートリッジがセットされています。

2 交換する色のトナーカートリッジを取り外します。

補足

- ❒ トナーカートリッジの取り外し方法は、4本とも同じです。

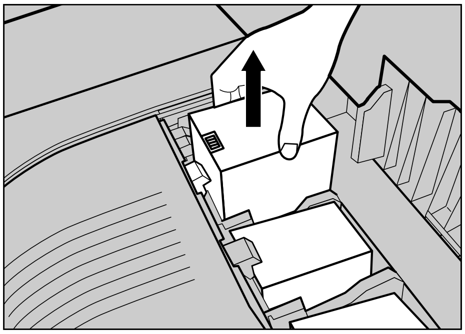
❶ **トナーカートリッジに掛かっている緑色のフックを外します。**



ZDJT999J

トナーカートリッジが少し浮き上がります。

❷ **トナーカートリッジをつかみ、ゆっくりと引き上げます。**



ZDJT201J

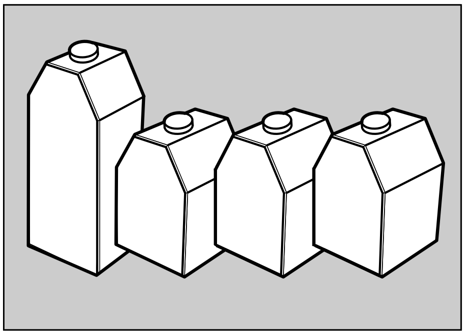
補足

- ❒ 設置環境等によっては、トナーカートリッジにトナーが残っている場合があります。その場合は、手順❺以降を参考にして、トナーカートリッジを再度セットしてください。自動的にトナー補給が行われ、継続して使用できる場合があります。

重要

- ❒ トナーカートリッジを取り外した後、トナーカートリッジの口を下に向けたまま振らないでください。残ったトナーが飛散することがあります。

3 新しいトナーカートリッジを箱から取り出します。

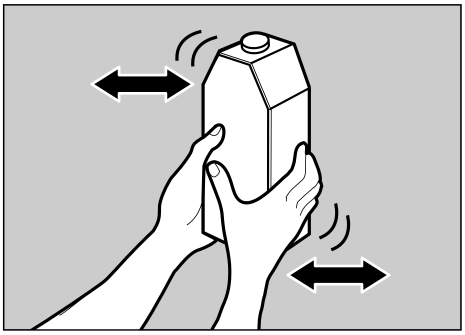


ZDJT202J

補足

- ❒ ブラック(K)のトナーカートリッジは、ほかのトナーカートリッジよりもトナーの容量が大きいものを使用しています。

4 トナーカートリッジを5、6回振ります。

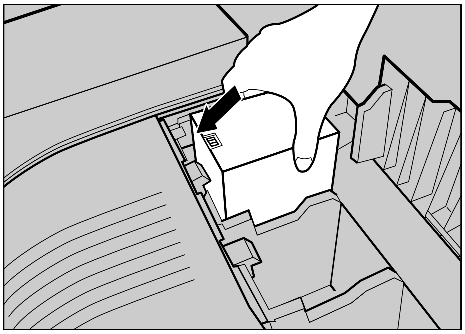


ZDJT203J

5 トナーカートリッジの金属製の接点を前方にして持ち、矢印の方向に軽く押しながら、垂直にゆっくりと差し込みます。

補足

- ❒ トナーカートリッジのセット方法は、4本とも同じです。

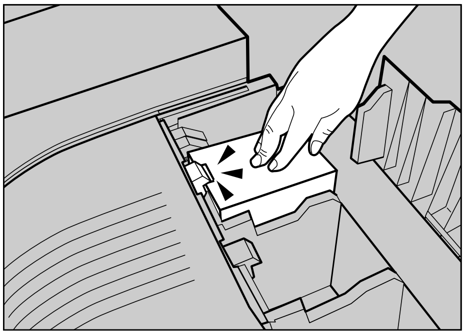


ZDJT004J

重要

- ❒ 金属製の接点に指を触れないように注意してください。

6 トナーカートリッジの金属製の接点にフックが掛かるまで、ゆっくりと奥まで差し込みます。

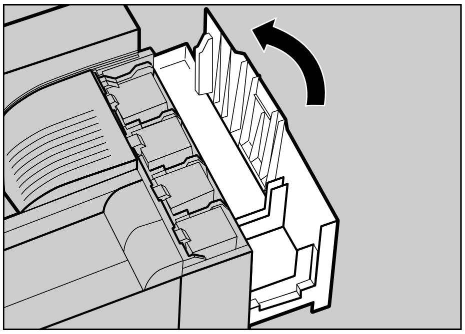


ZDJT005J

重要

- ❒ トナーカートリッジを何度も抜き差ししないでください。トナーが漏れる場合があります。

7 プリンター本体の右上カバーを閉めます。



ZDJH042J

画面に「おまちください」のメッセージが表示されます。しばらくお待ちください。

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

2. 清掃・調整する

清掃するときの注意

⚠警告



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー光洩れにより失明の恐れがあります。

⚠注意



- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりの処置の際は、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

本機を良好な状態に保ち、きれいにコピー・印刷するために、定期的に清掃してください。また、原稿ガラス、原稿カバー、自動原稿送り装置(ADF)が汚れていると、きれいにコピーしたりスキャンすることができません。汚れたら清掃してください。

外装の清掃は、まずやわらかい布でから拭きします。から拭きで汚れが取れないときは、やわらかい布を水でぬらし、固く絞ってから拭いてください。水でも取れない汚れは、中性洗剤を使って拭き、水拭きしてから、最後にから拭きし、水気を十分に取ります。

重要

❒ ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。変形、変色、ひび割れの原因となります。

❒ 本機の内部にほこりや汚れがあるときは、乾いた清潔な布で拭いてください。

レジストローラーを清掃する

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- レジストローラーの清掃は、本機の電源が切れていて、本機が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

現像ユニットブラックを交換するときに清掃してください。

1 **本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

2 **プリンター本体の右下カバーを開けます。**

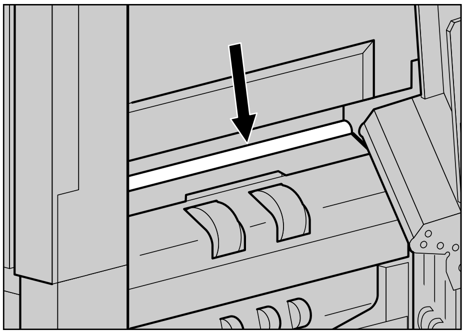


ZDJH206J

補足

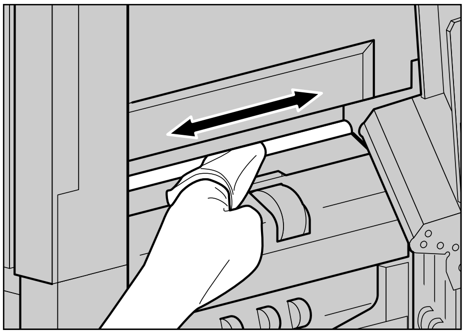
- ❒ 開いたカバーに身体や衣服などを引っ掛けないように注意してください。

レジストローラーは図の矢印の先の位置にセットされています。



ZDJH703J

3 **水でぬらし、固く絞った布でレジストローラーを回しながら拭きます。**

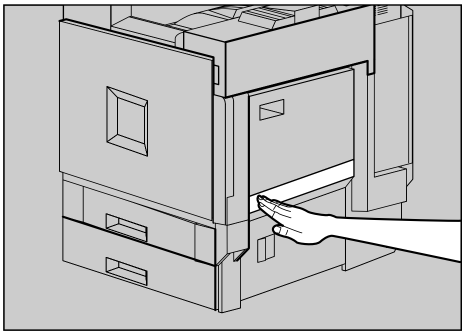


ZDJH704J

重要

- ❒ アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。

4 **プリンター本体の右下カバーに貼られている「PUSH」の部分を押して、右下カバーを閉めます。**



ZDJP708J

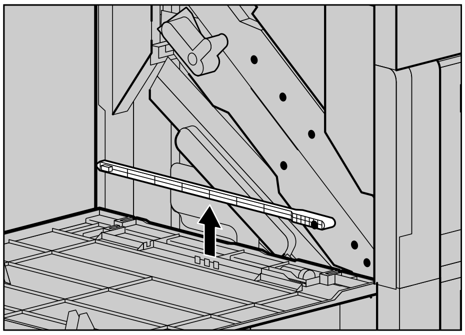
5 **電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。**

防じんガラスを清掃する

印刷時に白いスジが出るようになったら、防じんガラスの清掃が必要です。

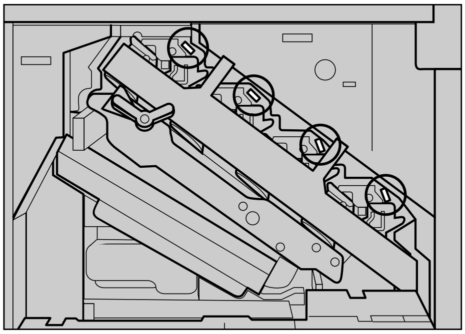
1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 プリンター本体の前カバーを開けて、掃除棒を取り出します。



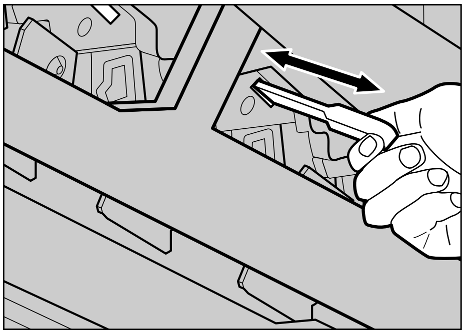
ZDJP705J

防じんガラスを清掃するための穴は4個所あります。



ZDJP706J

3 掃除棒を抜き差しして 4 個所の穴をすべて清掃します。8から10回くらい、ゆっくりと奥まで突き当てるように抜き差ししてください。



ZDJP707J

重要

- ❒ 掃除棒は強く差し込まないでください。プリンター内部を傷つける原因になります。

4 掃除棒をプリンター本体の前カバーに戻します。

5 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

原稿ガラスを清掃する

コピーやスキャンで汚れが生じたときは原稿ガラスを清掃します。

❖ **お手入れの方法**

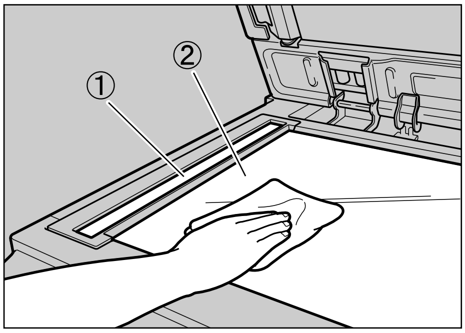
やわらかい布で乾拭きします。乾拭きで汚れが取れないときは、水で濡らして固く絞った布で拭きます。また、水でも取れない汚れは中性洗剤を使って拭きます。水拭き後、乾拭きをして水気を十分に取ります。

重要

- ❒ クリーナーなどの薬品類、シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。すきまからしみこんだり、本体のプラスチックが溶けたりして。、故障の原因になります。

1 読み取りガラス（①）を拭きます。

2 原稿ガラス（②）を拭きます。



ZFQC010J

原稿カバーを清掃する

コピーやスキャンの元原稿に汚れがつかないように、原稿カバーを清掃します。

❖ **お手入れの方法**

やわらかい布で乾拭きします。乾拭きで汚れが取れないときは、水で濡らして固く絞った布で拭きます。また、水でも取れない汚れは中性洗剤を使って拭きます。水拭き後、乾拭きをして水気を十分に取ります。

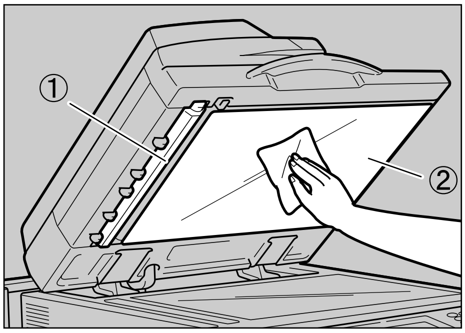
重要

❒ クリーナーなどの薬品類、シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。すきまからしみこんだり、本体のプラスチックが溶けたりして。、故障の原因になります。

自動原稿送り装置(ADF)をご使用の場合

1 **図の①の部分を拭きます。**

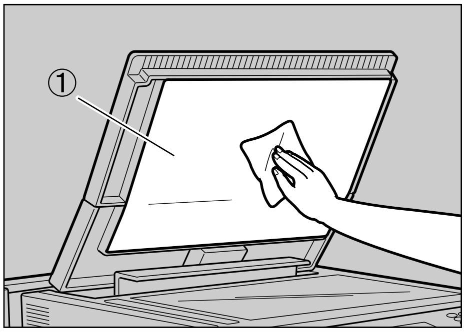
2 **図の②の部分を拭きます。**



ZFQC020J

原稿カバーをご使用の場合

図の①の部分を拭きます。



ZFQC060J

色ずれを補正する

本機の移動の後、また通常の印刷を繰り返しているうちに、カラー原稿を印刷すると色ずれが発生することがあります。このとき、色ずれ補正を行うことにより適正な印刷結果を得ることができます。

補足

- ❒ 通常、手動による補正は行わないでください。

色ずれ自動補正をする

本機を移動した場合や、印刷したカラー原稿に色ずれが発生した場合に行ってください。

1 【初期設定／カウンター】キーを押します。



ZFQS010J

初期設定／カウンター画面が表示されます。

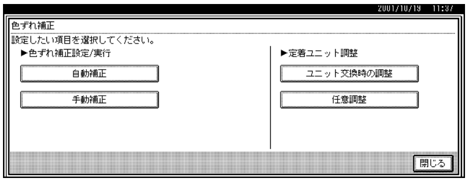
2 ［調整／管理］を押します。



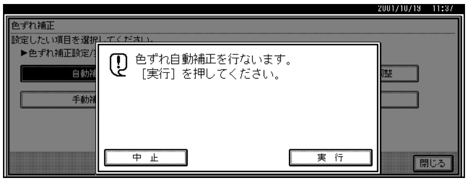
3 ［色ずれ補正］を押します。



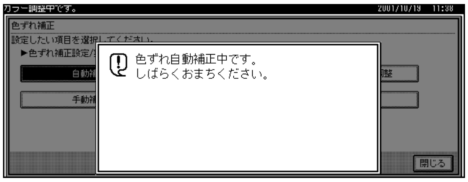
4 ［自動補正］を押します。



5 ［実行］を押します。



色ずれを自動補正が開始され、自動補正中の画面が表示されます。



色ずれ自動補正は約2分で終了します。

6 すべての設定が終わったら【初期設定／カウンター】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

2

色ずれ手動補正をする

重要

- ❒ 通常、色ずれ手動補正は行わないでください。

1 【初期設定／カウンター】キーを押します。



ZFQS010J

初期設定／カウンター画面が表示されます。

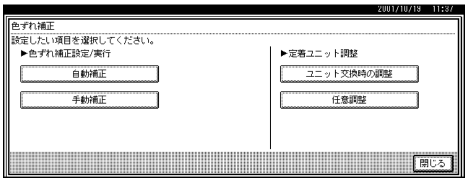
2 ［調整／管理］を押します。



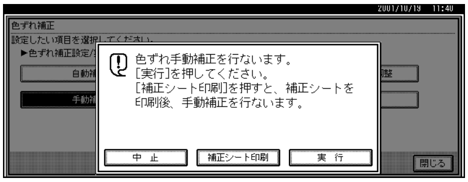
3 ［色ずれ補正］を押します。



4 ［手動補正］を押します。



5 確認用の色ずれ補正シートを印刷するために［補正シート印刷］を押します。



色ずれ補正シートが印刷されます。色ずれ補正シートの印刷が終了すると、色ずれ補正画面が表示されます。

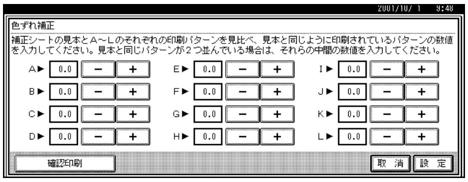
参照

印刷サンプルはP.17「補正シート・調整シートを確認する」を参照してください。

補足

- ❒ 色ずれ補正シートを印刷する場合は、標準トレイにA4用紙をセットしておいてください。

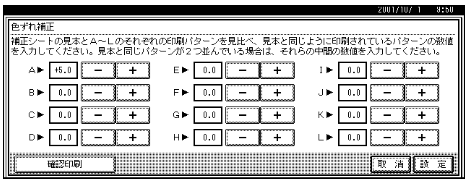
6 色ずれ補正シートのA～L、それぞれの補正値を順番に設定します。



補足

- ❒ 補正値は、印刷された色ずれ補正シートを見ながら設定します。

❶ **色ずれ補正シートの見本と、A欄の印刷パターン（-7～+7）の、枠の中の白い部分を見比べます。もっとも見本と近い状態で印刷されているA欄の印刷パターンの数値（-7.0～+7.0）を［+］、［−］を押して入力します。**



補足

- ❒ ［＋］、［－］を押すごとに、0.5ずつ増減します。
- ❒ 見本と近い状態で印刷されている印刷パターンが2つある場合は、それらの中間の値を設定してください。例えば、「+1」と「+2」が両方とも見本と近い状態で印刷されている場合は、「+1.5」を設定します。
- ❒ 補正値は-7.0～+7.0までです。
- ❒ 補正シートの中に「A」～「L」の値をメモしておくための欄が設けてあります。設定した数値を書き留めておくことを、お勧めします。

❷ **手順❶を繰り返して、L欄まで設定します。**

❸ **設定が終わったら、［確認印刷］を押します。**

補正後のシートが印刷されます。

❹ **印刷された色ずれ補正シートのA～L欄すべてで、0の印刷パターンの枠の中がもっとも白く、見本と近い状態であることを確認します。**

補足

- ❒ 0以外の印刷パターンの枠の中がもっとも白い場合は、手順❻の最初からもう一度操作してください。

7 すべての設定が終わったら【初期設定／カウンター】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

定着ユニット調整をする

色ずれが発生したとき

色ずれ自動補正を行っても、色ずれが解消されないときには任意調整を行ってください。

補足

- ❒ トナーが残りわずかの場合や、色ずれ自動補正が行われていない場合は、任意調整を行うことができません。

1 サイズがA4▭以上の用紙を、手差しトレイにセットします。

参照

手差しトレイにセットできる用紙サイズや、セットする方法については、P.31「用紙について」を参照してください。

2 【初期設定／カウンター】キーを押します。



ZFQS010J

初期設定／カウンター画面が表示されます。

3 ［調整／管理］を押します。

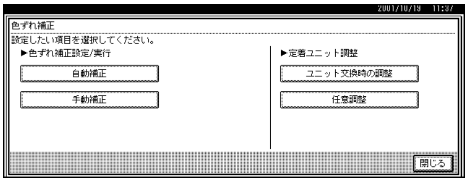


4 ［色ずれ補正］を押します。



2

5 ［任意調整］を押します。



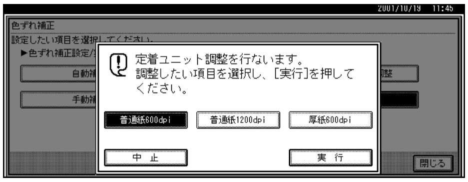
重要

- トナーが残り少ないとき、また色ずれ補正が終了していないときは、操作パネルに「定着ユニット調整できません。」というメッセージが表示されます。この場合、任意調整を実施することはできません。

トナーカートリッジにトナーがあるかどうか確認し、トナーが無い場合は補給します。⇒ P.3 「トナーを補給する」

トナーカートリッジにトナーがある場合は、色ずれ自動補正を行います。⇒ P.13「色ずれ自動補正をする」

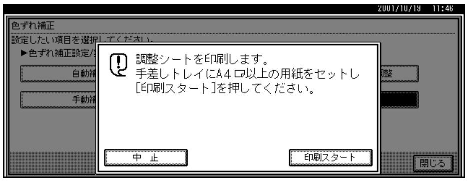
6 調整したい項目に応じて、［普通紙600dpi］、［普通紙1200dpi］、［厚紙600dpi］のいずれかを選択して、［実行］を押します。



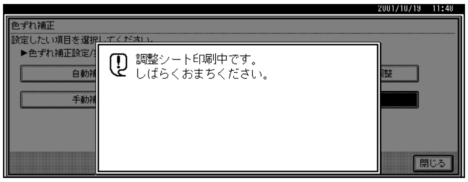
補足

- 設定している解像度は、プリンタードライバーの［設定一覧］画面で確認することができます。［設定一覧］画面は、［印刷品質］タブの［印刷品質の設定内容一覧］ボタンを押すと表示されます。
- 厚紙印刷時のずれを補正する場合は、解像度に関わらず［厚紙600dpi］を選択してください。

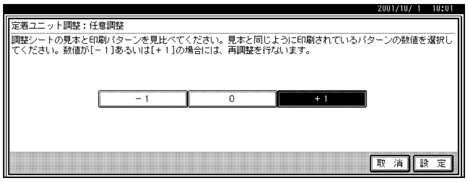
7 定着ユニット調整シートを印刷するために、手差しトレイに、サイズがA4□以上の用紙がセットされていることを確認してから、［印刷スタート］を押します。



定着ユニット調整シートⅡが印刷されます。印刷サンプルはP.17「補正シート・調整シートを確認する」を参照してください。

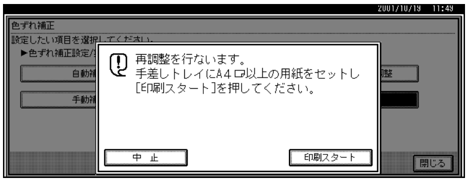


8 調整シートの見本と、A欄の印刷パターンの、枠の中の白い部分を見比べます。見本とおなじように印刷されているパターンの数値を押して選択します。



「0」を選択した場合は設定を終了し、手順5の画面に戻ります。

「-1」、「+1」を選択した場合は、次の画面が表示されます。



［印刷スタート］を押すと、調整後の定着ユニット調整シートⅡが印刷され、手順8の画面が再度表示されます。調整を続け、印刷パターン0が見本と同じように印刷されたら、「0」を選択してください。

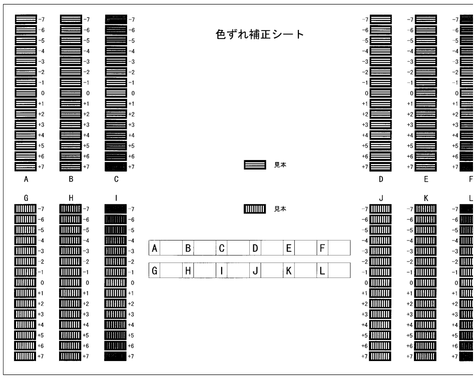
9 すべての設定が終わったら【初期設定／カウンター】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

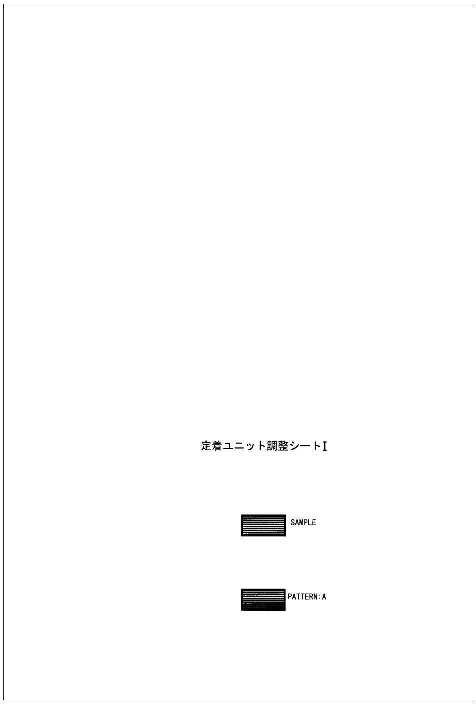
補正シート・調整シートを確認する

色ずれ手動補正、定着ユニット調整を実行したときに出力されるシートです。

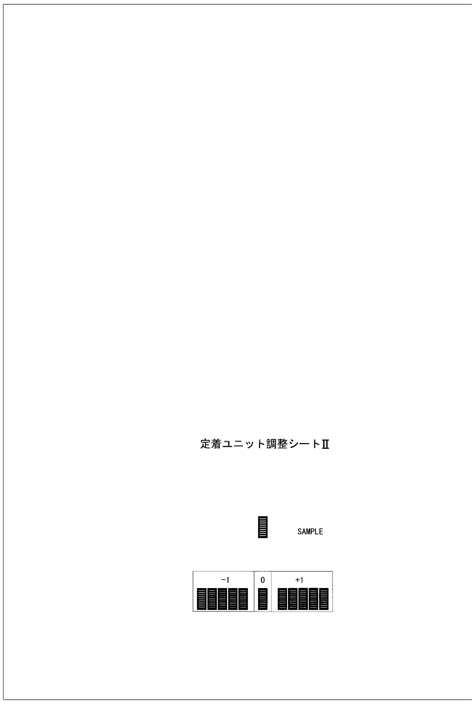
❖ 色ずれ補正シート



❖ 定着ユニット調整シート I



❖ 定着ユニット調整シート II



階調を補正する

カラー印刷の階調はさまざまな要素によって微妙に変化します。印刷を繰り返しているうちに色味が変化したり、トナーを交換したときに色味が変わることがあります。この場合、階調を補正することにより、適切な階調の印刷結果を得ることができますが、通常は特に設定する必要はありません。

補足

- ❒ 階調補正を行うと、印刷するすべてのユーザーの印刷結果に反映されます。
- ❒ 一連の操作で使用する階調補正シートの用紙は、同じ種類の用紙を使用してください。違う種類の用紙を使用すると正確に補正されません。
- ❒ 階調補正シートは手差しトレイにセットされた用紙に印刷することはできません。

自動階調補正を実行する

本機では、印刷されたときに最も明るい部分（ハイライト部）と、最も暗い部分にあたる中間の調子（ミドル部）の2つの部分の階調を自動的に補正します。

補足

- ❒ トナーが残りわずかの場合は、自動階調補正を行うことができません。

1 【初期設定／カウンター】キーを押します。



ZFQS010J

初期設定／カウンター画面が表示されます。

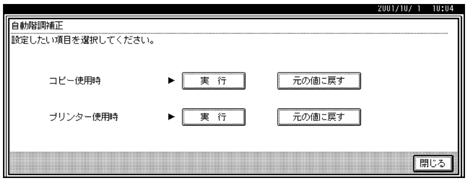
2 ［調整／管理］を押します。



3 ［自動階調補正］を押します。



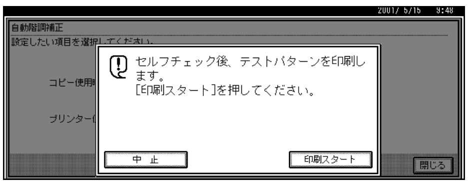
4 コピー機能の階調補正を実行する場合は、「コピー使用時」右側の［実行］を押します。プリンター機能の階調補正を実行する場合は「プリンター使用時」右側の［実行］を押します。



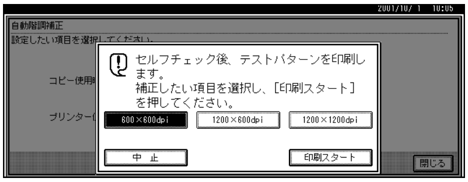
5 階調補正シートを印刷します。

コピー機能の階調補正を実行した場合は、手順❶へ進んでください。プリンター機能の階調補正を実行した場合は、解像度の選択画面が表示されます。その場合は、手順❷へ進んでください。

❶ **コピー機能の階調補正を実行した場合は、次の画面が表示されます。［印刷スタート］を押します。**



❷ **プリンター機能の階調補正を実行した場合は、次の画面が表示されます。［600x600dpi］、［1200x600dpi］、［1200x1200dpi］から階調補正する解像度を選択し、［印刷スタート］を押します。**



階調補正シートが印刷されます。

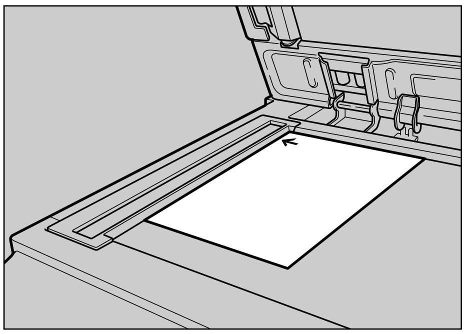
補足

❒ このメニューに入った直後のみ、［印刷スタート］を押した後、セルフチェックが開始されます。階調補正シートが印刷されるまで、数分お待ちください。

重要

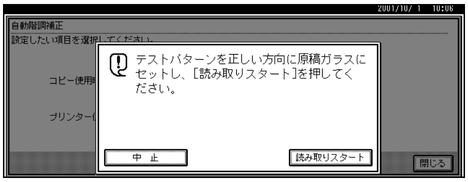
❒ トナーが残り少ないときは、操作パネルに「テストパターンを印刷することができませんでした。」というメッセージが表示されます。この場合、自動階調補正を実施することはできません。トナーカートリッジにトナーがあるかどうか確認し、トナーが無い場合は補給します。⇒ P.3「トナーを補給する」

6 印刷されている面を下にして、印刷された矢印が原稿ガラスの左奥になるように原稿をセットします。



ZFQC030J

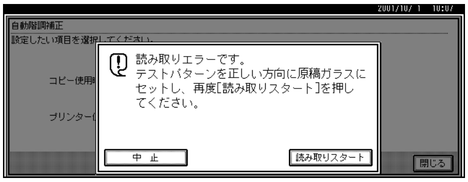
7 ［読み取りスタート］を押します。



階調補正が実行されます。

補足

❒ 用紙が正しい向きにセットされていない場合、次のメッセージが表示されます。用紙を正しい向きにセットし直してから、［読み取りスタート］を押してください。



8 すべての設定が終わったら【初期設定／カウンター】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

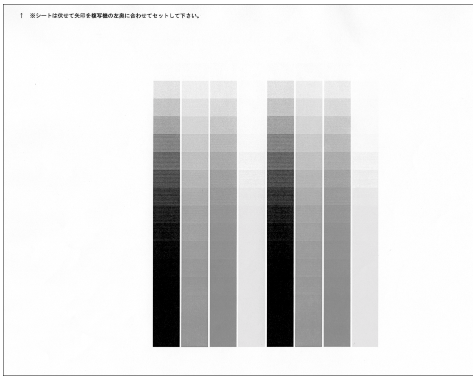
2

階調補正シートを確認する

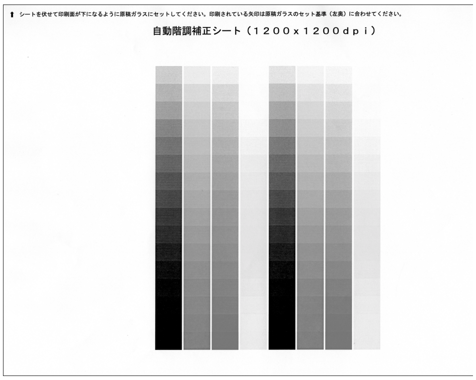
自動階調補正を実行したときに出力されるシートです。

シートの矢印を原稿ガラスの左奥に合わせて、このシートを読みとると自動的に階調が補正されます。

❖ コピー機能の階調補正シート



❖ プリンター機能の階調補正シート



階調の補正値を初期値に戻すには

階調設定した補正値を初期値に戻します。

1 **【初期設定／カウンター】キーを押します。**



ZFQS010J

初期設定／カウンター画面が表示されます。

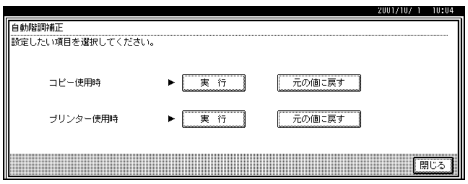
2 **［調整／管理］を押します。**



3 **［自動階調補正］を押します。**



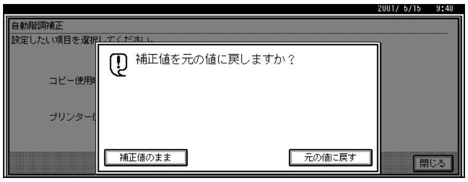
4 **コピー機能の階調補正を元の値に戻す場合は「コピー使用時」右側の［元の値に戻す］を、プリンター機能の階調補正を実行する場合は「プリンター使用時」右側の、［元の値に戻す］を押します。**



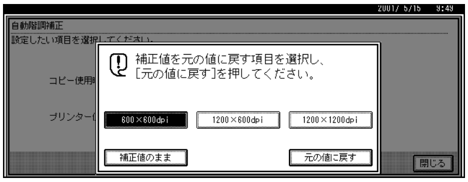
5 階調補正シートを印刷します。

コピー原稿の階調補正を実行した場合は、手順❶へ進んでください。プリンターから印刷した原稿の階調補正を実行した場合は、解像度の選択画面が表示されます。その場合は、手順❷へ進んでください。

❶ **コピー原稿の階調補正を元の値に戻す場合は、次の画面が表示されます。［元の値に戻す］を押します。**



❷ **プリンターから印刷した原稿の階調補正を元の値に戻す場合は、次の画面が表示されます。**［600x600dpi］、［1200x600dpi］、［1200x1200dpi］**から階調補正する解像度を選択し、［元の値に戻す］を押します。**



6 すべての設定が終わったら【初期設定／カウンター】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

印刷濃度を調整する

印刷面にかすれや汚れが出たときなどに印刷濃度を調整します。

濃度調整はカラーバランスを崩す原因になりますので、できるだけ工場出荷時の設定でお使いください。複数のカラープリンターの色合わせをするような特殊な場合にだけ調整してください。

重要

- ❒ 極端に淡側、濃側に設定すると、地汚れの原因になります。
- ❒ 濃度の調整は、できるだけアプリケーションやプリンタードライバーで行ってください。

1 【初期設定／カウンター】キーを押します。



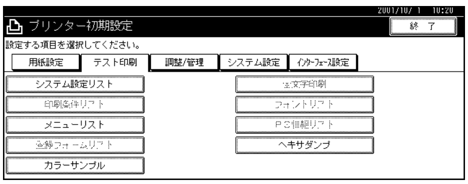
ZFQS010J

初期設定／カウンター画面が表示されます。

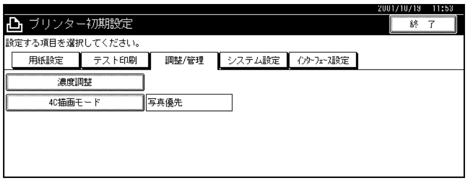
2 ［プリンター初期設定］を押します。



3 ［調整／管理］タブを押します。

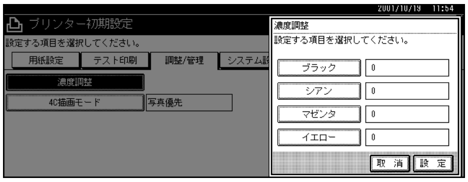


4 ［濃度調整］を押します。

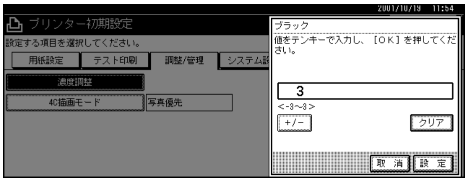


5 ブラック、シアン、マゼンタ、イエローの濃度を調整します。

❶ 濃度調整する色として［ブラック］、［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］のどれかを押します。

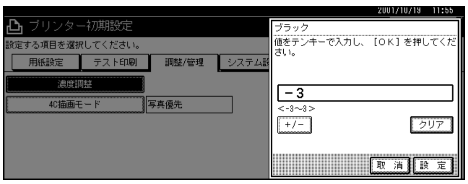


❷ 濃度調整する値をテンキーで入力します。



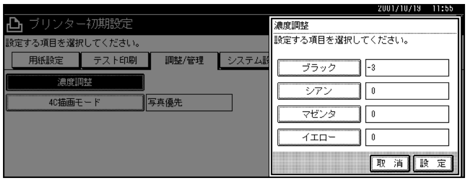
補足

- ❒ 印刷濃度は -3 〜 +3 の 7 段階で調整できます。数値をプラス方向に増やすと濃く、マイナス方向に増やすと薄くなります。
- ❒ テンキーで数値を入力した後、［＋ / −］を押すと、+ と - が切り替わります。



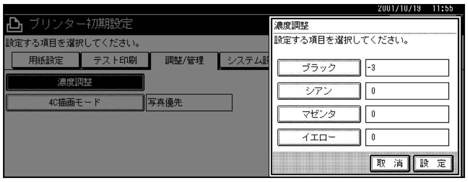
❸［設定］を押します。

設定した値が表示されます。



❹ 他の色の濃度調整をする場合は、❶〜❸を繰り返します。

濃度調整が終了したら、［設定］を押します。



6 すべての設定が終わったら【初期設定／カウンター】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

印刷位置を調整をする

トレイごとの印刷位置をそろえるために印刷位置を調整することができます。通常は特に設定する必要はありません。

1 **【初期設定／カウンター】キーを押します。**



ZFQS010J

初期設定／カウンター画面が表示されます。

2 **［調整／管理］を押します。**

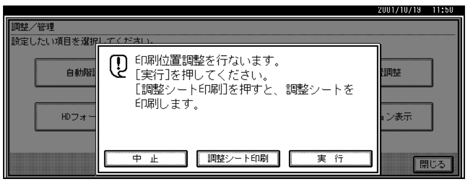


3 **［印刷位置調整］を押します。**

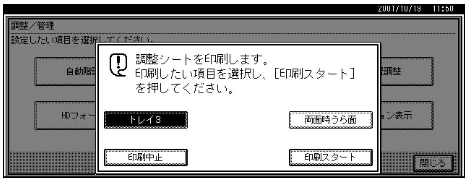


4 **印刷位置を調整するための目安となる調整シートを印刷します。**

❶ **［調整シート印刷］を押します。**



❷ **位置調整するトレイとして［トレイ3］、または［両面時うら面］のどちらかを押します。**

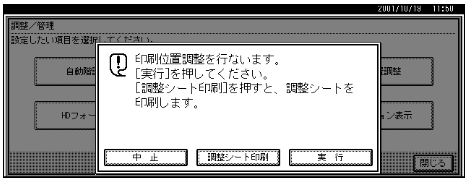


❸ **［印刷スタート］を押します。**

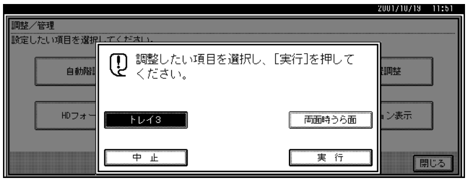
調整シートが印刷されます。

5 **調整する項目を選択します。**

❶ **［実行］を押します。**



❷ **位置調整するトレイとして［トレイ3］または[両面時うら面]のいずれかを押します。**

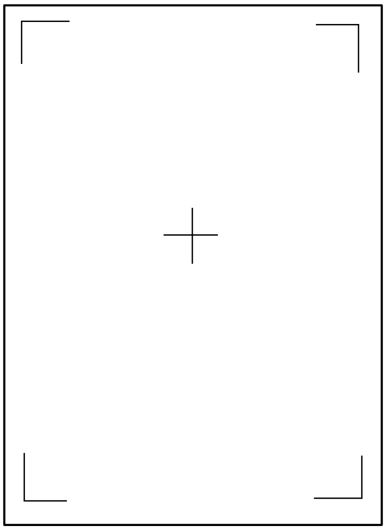


❸ **［実行］を押します。**

6 印刷した調整シートを確認して、実際に印刷位置を調整します。

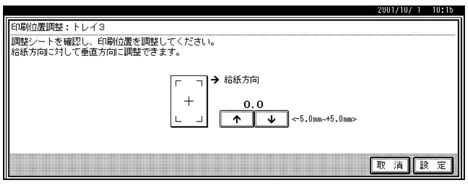
補足

- ❒ 印刷位置を確認する場合には、給紙方向が基準となります。用紙の給紙方向は、排出方向と同じ向きなので、用紙の排出方向に注意してください。



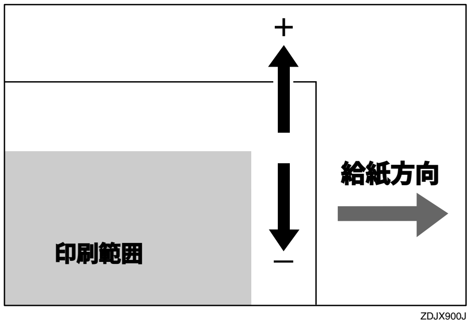
ここでの設定は調整シートの余白部分が等しくなるように調整します。

❶ [↑] または [↓] を押して、数値（単位mm）を現在の設定から変更します。



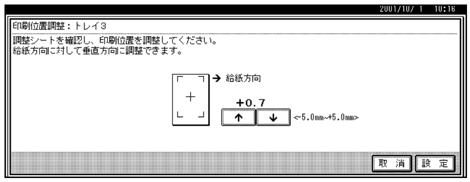
補足

- ❒ 数値を大きくすると、印刷範囲を＋方向にずらして印刷します。数値を小さくすると、印刷範囲を－方向にずらして印刷します。



- ❒ [↑] または [↓] を押し続けると、1.0mm単位で設定できます。

❷ [設定] を押します。



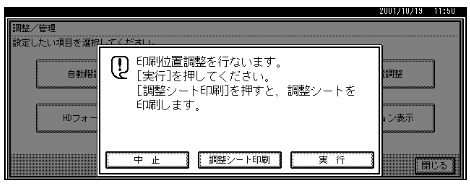
手順4の画面に戻ります。

7 手順 4 と同じ手順で調整シートを印刷して、調整した結果を確認します。

補足

- ❒ 印刷位置がずれている場合は、手順5からもう一度操作してください。

8 正しい位置に印刷されていたら、[中止] を押します。



9 すべての設定が終わったら【初期設定／カウンター】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

3. 原稿について

セットできる原稿のサイズと紙厚

原稿セット先	原稿サイズ	原稿紙厚
原稿ガラス	A3（297×420mm）、11×17（279×432mm）まで	—
自動原稿送り装置(ADF)	片面原稿時A3▭～B6▯▭、11×17 ▭～$5^{1}/_{2}\times8^{1}/_{2}$▯▭、297×432mm	40～128g/m^2（35～110kg）
	両面原稿時A3▭～A5▯▭、11×17 ▭～$5^{1}/_{2}\times8^{1}/_{2}$▯▭	52～105g/m^2（45～90kg）

補足

- ❒ 自動原稿送り装置(ADF)にセットできる枚数は、『リコピー PPC用紙タイプ6200』のとき約80枚です。
- ❒ B6▭の片面原稿をセットできるのは、原稿紙厚が52～128g/m^2（45～110kg）の場合だけです。
- ❒ サイズ混載機能のときは、52～81g/m^2（45～70kg）です。
- ❒ 原稿はまっすぐ送られるようにセットしてください。
- ❒ 自動原稿送り装置(ADF)に長さ433mm以上の用紙をセットすると、しわができたり、用紙が送られなかったり、紙づまりを起こす原因となることがあります。

自動原稿送り装置(ADF)にセットできない原稿

次のような原稿を自動原稿送り装置(ADF)にセットすると、紙づまり、原稿の破損、白スジ、黒スジの原因になることがあります。原稿ガラスの上にセットしてください。

- P.27 「セットできる原稿のサイズと紙厚」以外の原稿
- ステープラーの針やクリップの付いた原稿
- 穴、破れのある原稿
- 反り、折れ、しわのある原稿
- 貼り合わせた原稿
- 感熱紙、アート紙、銀紙、カーボン紙、導電性の用紙などの表面が加工された原稿
- ミシンがけ原稿
- インデックスや付せんなど、はみ出た部分のある原稿
- トレーシングペーパー（第二原図用紙）などのすべりにくい原稿
- 登記簿などに使われる薄くて柔らかい原稿
- 官製はがきなどの厚い原稿
- 本などの綴じてある原稿
- OHPフィルムやトレーシングペーパー（第二原図用紙）などの透明度の高い原稿
- 修正液やインクなどが完全に乾いていない原稿

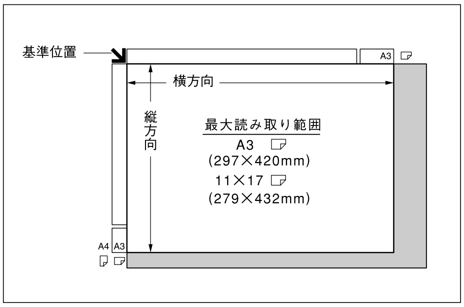
3

自動的に読み取れる原稿サイズ

原稿サイズ	国内で使われているサイズ					海外で使われているサイズ				
原稿セット先	A3	B4	A4	B5	A5	11×17	Legal（8 1/2×14）	Letter（8 1/2×11）	Letter（8 1/2×11）	5 1/2×8 1/2
原稿ガラス	○	○	○	○	×	×*1	×*1	○*1	×*1	×
自動原稿送り装置(ADF)	○	○	○	○	○	×*1	×	○	×*1	×

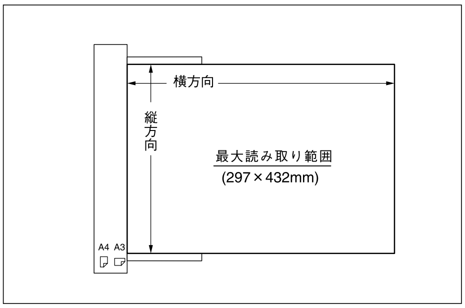
*1　**国内サイズではなく海外サイズでご使用になりたいときは、サービス実施店に連絡してください。**

❖ 原稿ガラス



CP1-A

❖ 自動原稿送り装置(ADF)



CP2-A

サイズが読み取りにくい原稿

次のような原稿はサイズが読み取りにくいため、「自動用紙選択」を設定しても正しいサイズの用紙が選択されないことがあります。手動で用紙を選択してください。

- 付せんやインデックスなど、はみ出た部分のある原稿
- OHPフィルムやトレーシングペーパー（第二原図用紙）などの透明度の高い原稿
- 文字や絵柄部などが多く、全体に黒っぽい原稿
- 部分的にベタ部がある原稿
- 周囲にベタ部がある原稿

画像欠け範囲

原稿ガラスまたは自動原稿送り装置(ADF)に正しくセットしても、以下の範囲で読み取りができないことがあります。

- コピー：原稿の周囲から内側先端約5mm、後端約6mm、左右端約4mm
- スキャナー：原稿の周囲から内側約3mm

4. 用紙について

使用できる用紙

用紙の種類とサイズ

各給紙トレイにセットできる用紙の種類、サイズ、方向、最大セット枚数は以下のとおりです。

補足

- ❒ ▯▭は用紙のセット方向を表します。
- ❒ セットできる用紙の向きに注意してください。用紙サイズによっては、セットできない方向があります。

❖ 給紙トレイ1（標準）の場合

用紙の種類	用紙のサイズ	最大セット枚数
普通紙、再生紙	A4▯	550枚 *1

*1 **普通紙の最大セット枚数は、「リコー PPC用紙タイプ6200」使用時のものです。**

補足

- ❒ 給紙トレイ1（標準）にセットできる用紙厚は、55〜90kg（60〜105g/m^2）です。

❖ 給紙トレイ2（標準）の場合

用紙の種類	用紙のサイズ	最大セット枚数
普通紙、再生紙	A3▭、B4▭、A4▯、A4▭、B5▯、B5▭ *2、A5▯、11×17▭、Legal（8$^1/_2$×14）▭ *2、Letter（8$^1/_2$×11）▯、Letter（8$^1/_2$×11）▭ *2	550枚 *1

*1 **普通紙の最大セット枚数は、「リコー PPC用紙タイプ6200」使用時のものです。**

*2 **操作画面でサイズの設定が必要です。**

補足

- ❒ 給紙トレイ2（標準）にセットできる用紙厚は、55〜90kg（60〜105g/m^2）です。

❖ 手差しトレイの場合

用紙の種類	用紙のサイズ	最大セット枚数
普通紙、再生紙	A3▭、B4▭、A4▭、B5▭、A5▭、B6▭、A6▭、11×17▭、Legal（$8\frac{1}{2}\times14$）▭、Letter（$8\frac{1}{2}\times11$）▭、Half Letter（$8\frac{1}{2}\times5\frac{1}{2}$）▭、不定形サイズ（長さ148〜457mm、幅90〜305mm）[*2]	100枚 [*1]
ハクリ紙	A4▭、B4▭	30枚 [*3]
第二原図用紙	A3▭、B4▭、A4▭、B5▭	10枚 [*4]
OHPフィルム	A4▭	50枚 [*5]
官製はがき	▭、往復はがきA5▭	40枚

[*1] **普通紙の最大セット枚数は、「リコー PPC用紙タイプ6200」使用時のものです。**

[*2] **操作画面でサイズの設定が必要です。**

[*3] **ハクリ紙のセット枚数は、「リコー PPC用紙タイプSA」使用時のものです。**

[*4] **第二原図用紙のセット枚数は、「リコー PPC用紙タイプTA」使用時のものです。**

[*5] **OHPフィルムは、リコー推奨の製品をご使用ください。**

補足

- ❒ 手差しトレイにセットできる用紙厚は、55〜135kg（60〜163g/m²）です。
- ❒ 不定形サイズの用紙をセットしたときは、用紙サイズの設定が必要です。
- ❒ 手差しトレイには、なるべく▭方向に用紙をセットしてください。⇒ P.38「手差しトレイに用紙をセットする」

❖ 500枚/1000枚給紙テーブル（オプション）の場合

用紙の種類	用紙のサイズ	最大セット枚数
普通紙、再生紙	A3▭、B4▭、A4▯、A4▭、B5▯、B5▭、A5▯、11×17▭、Legal（$8\frac{1}{2}\times14$）▭、Letter（$8\frac{1}{2}\times11$）▯、Letter（$8\frac{1}{2}\times11$）▭	550枚/1100枚 [*1]

[*1] **普通紙の最大セット枚数は、「リコー PPC用紙タイプ6200」使用時のものです。**

補足

- ❒ 500枚/1000枚給紙テーブル（オプション）にセットできる用紙厚は55〜90kg（60〜105g/m²）です。

❖ 2000枚給紙テーブル（オプション）の場合

用紙の種類	用紙のサイズ	最大セット枚数
普通紙、再生紙	A4▯、Letter▯	2000枚 [*1]

[*1] **普通紙の最大セット枚数は、「リコー PPC用紙タイプ6200」使用時のものです。**

補足

- ❒ 2000枚給紙テーブル（オプション）にセットできる用紙厚は、55〜90kg（60〜105g/m²）です。
- ❒ 2000枚給紙テーブル（オプション）にLetter（$8\frac{1}{2}\times11$）▯の用紙をセットするときは、販売担当者に連絡してください。

用紙をセットする

給紙トレイ（標準）、給紙テーブル（オプション）に用紙をセットする

ここでは給紙トレイや給紙テーブルに用紙をセットする方法を説明します。

重要

- ❒ 給紙トレイ1（標準）は、A4▯専用の給紙トレイです。常にA4の用紙をセットしてください。
- ❒ 2000枚給紙テーブル（オプション）にLetter（8 1/2×11）▯の用紙をセットするときは販売担当者に連絡してください。

参照

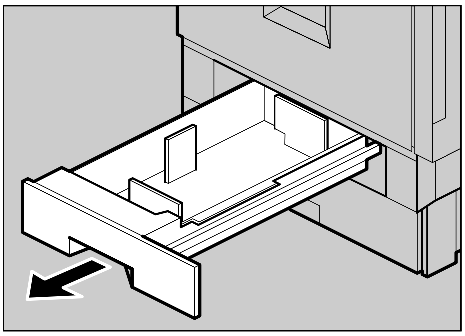
給紙トレイ（標準）、給紙テーブル（オプション）にセットできる用紙については、P.31「用紙の種類とサイズ」を参照してください。

給紙トレイ1（標準）に用紙をセットするとき

重要

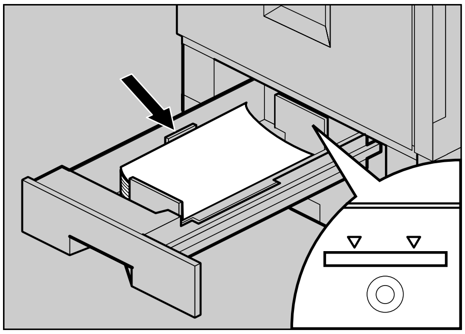
- ❒ 給紙トレイ1（標準）は、A4▯専用の給紙トレイです。常にA4の用紙をセットしてください。

1 **給紙トレイを止まるまでゆっくりと引き出します。**



ZDJH003J

2 **印刷する面を下にして、A4の用紙をそろえてセットします。**



ZDJY001J

重要

- ❒ セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。

3 **給紙トレイをゆっくりと奥まで押し込みます。**

4

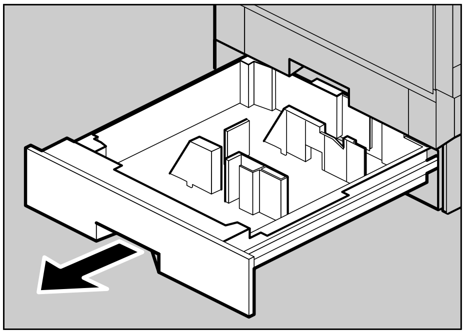
給紙トレイ2（標準）、500枚給紙テーブル、1000枚給紙テーブルに用紙をセットするとき

ここでは、給紙トレイ2（標準）に用紙をセットする方法を例に説明します。

補足

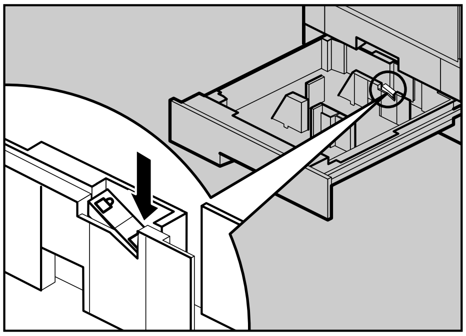
❒ サイドフェンス、エンドフェンスが、セットする用紙のサイズの位置と同じ位置にあった場合は、サイドフェンス、エンドフェンスを動かす必要はありません。

1 給紙トレイを止まるまでゆっくりと引き出します。



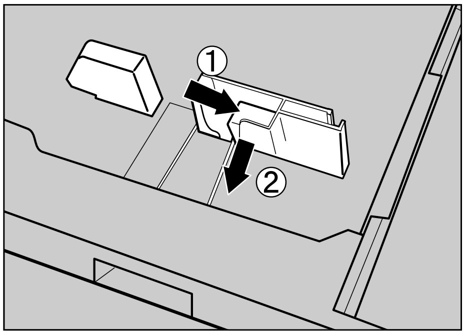
ZDJH305J

2 サイドフェンスのロックを解除します。



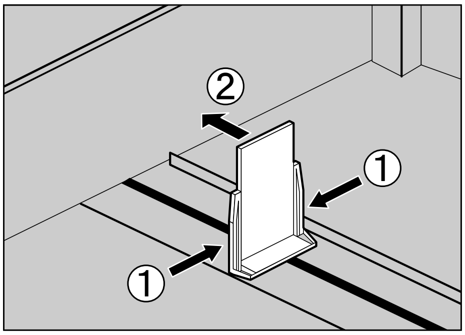
ZDJY950J

3 サイドフェンスの緑色のレバーを押しながら（①）、矢印の方向に動かして広げます（②）。



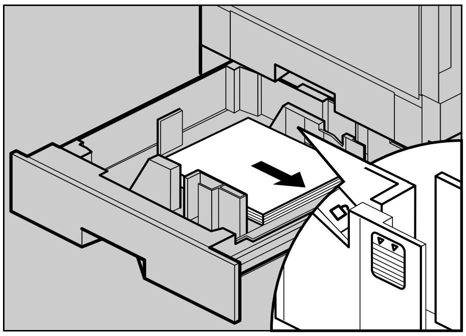
ZDJY802J

4 エンドフェンスの両端をつまんで（①）、矢印の方向に動かして広げます（②）。



ZDJY801J

5 印刷する面を下にして、用紙をそろえてセットします。

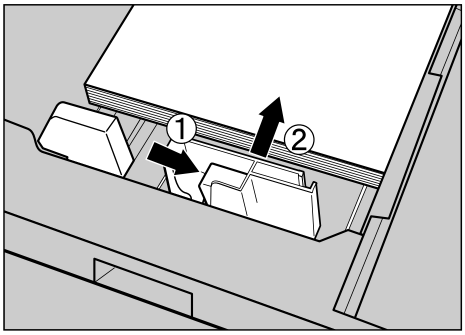


ZDJY901J

重要

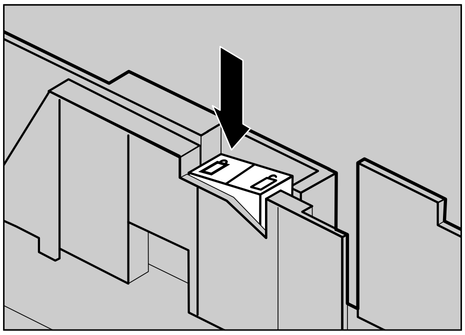
❒ セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。

6 **サイドフェンスの緑色のレバーを押しながら（①）、セットした用紙サイズに合わせて動かします（②）。**



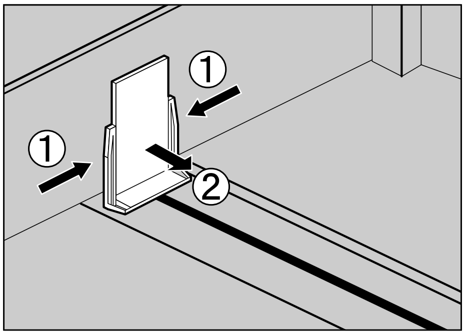
ZDJY006J

7 **用紙が固定されたことを確認してから、サイドフェンスをロックします。**



ZDJY007J

8 **エンドフェンスの両端をつまんで（①）、セットした用紙の位置まで動かします（②）。**



ZDJY005J

9 **給紙トレイをゆっくりと奥まで押し込みます。**

重要

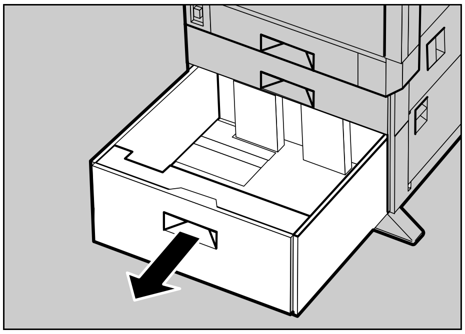
- ❒ トレイを勢いよく押し込むと、トレイのサイドフェンスの位置がずれることがあります。

2000枚給紙テーブル（オプション）に用紙をセットするとき

重要

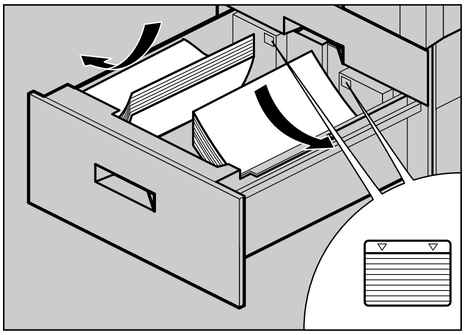
- ❒ 2000枚給紙テーブル（オプション）にLetter（$8\frac{1}{2}\times 11$）の用紙をセットするときは、販売担当者に連絡してください。

1 **給紙トレイを止まるまでゆっくりと引き出します。**



ZDJY008J

2 **印刷する面を下にして、用紙をそろえて左右にセットします。片側1000枚が上限です。**



ZDJY009J

重要

- ❒ 用紙はきちんとそろえて、左右の壁に確実に押し当ててください。きちんとセットされていないと、紙づまりの原因になります。
- ❒ セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。

3 **給紙トレイをゆっくりと奥までセットします。**

自動検知されないサイズの用紙をセットしたとき

補足

- ❒ 自動検知されないサイズの用紙は、B5◻、Legal◻、Letter◻です。

参照

用紙のセット方法については、P.34「給紙トレイ2（標準）、500枚給紙テーブル、1000枚給紙テーブルに用紙をセットするとき」を参照してください。

重要

- ❒ 給紙トレイ1（標準）は、A4◻専用の給紙トレイです。A4◻以外の用紙をセットすることはできません。
- ❒ 2000枚給紙テーブル（オプション）にLetter（8 1/2×11）の用紙をセットするときは、販売担当者に連絡してください。

ここではLetter◻を例に説明します。

1 【初期設定／カウンター】キーを押します。

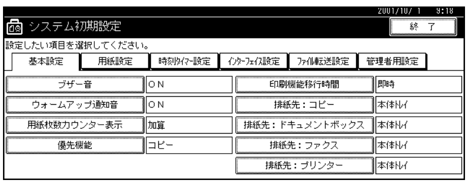


ZFQS010J

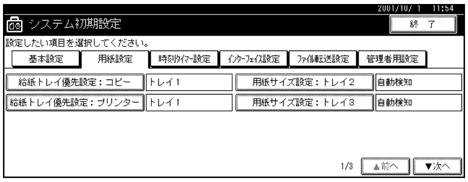
2 ［システム初期設定］を押します。



3 ［用紙設定］タブを押します。



4 用紙サイズを設定したいトレイを選択します。［用紙サイズ設定：トレイ2］〜［用紙サイズ設定：トレイ4］のどれかを押します。



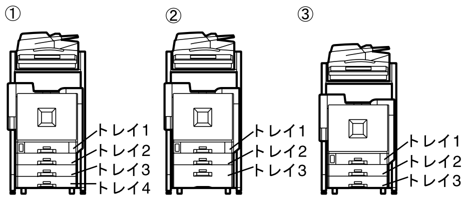
補足

- ❒ オプションの給紙テーブルを装着しているときには、「トレイ3」と「トレイ4」が表示されます。

❶ **オプション:1000枚給紙テーブル利用時**

❷ **オプション:2000枚給紙テーブル利用時**

❸ **オプション:500枚給紙テーブル利用時**

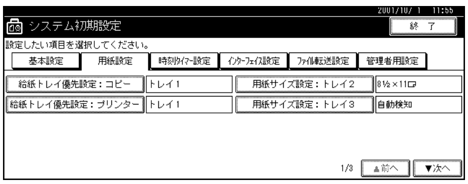


ZFQC040J

5 セットした用紙サイズとセット方向の組み合わせを選択して、［設定］を押します。



設定した用紙サイズとセット方向が表示されます。



6 【初期設定／カウンター】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

用紙サイズの設定が完了しました。

重要

- ❒ サイズが自動検知されない用紙で印刷した後、自動検知される用紙で印刷する場合は、自動検知の設定に戻す必要があります。用紙をセットし直してから、手順1〜4を行います。手順5の画面で［自動検知］を選択して［設定］を押すと、自動検知の設定に戻ります。**【初期設定／カウンター】**キーを押して通常の画面に戻ると、自動検知される用紙での印刷やコピーを開始できます。

用紙の種類を設定するとき

セットした用紙の種類を設定することで、より適切な印刷やコピーができます。設定できる用紙の種類は以下のとおりです。

- 普通紙、再生紙、特殊紙、色紙、レターヘッド

重要

- ❒ 用紙の種類の設定では、操作画面での設定よりも、プリンタードライバーでの設定が優先されます。
- ❒ 本機以外のプリンターで印刷した用紙は使用しないでください。

参照

プリンタードライバーでの設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1 【初期設定／カウンター】キーを押します。



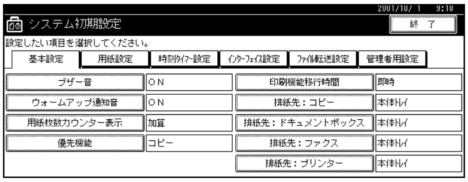
ZFQS010J

初期設定／カウンター画面が表示されます。

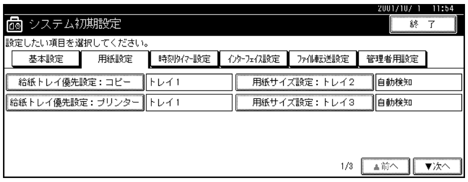
2 ［システム初期設定］を押します。



3 ［用紙設定］タブを押します。



4 画面下の［▼次へ］を押します。



5 用紙の種類を設定したいトレイを選択します。［用紙種類設定：トレイ1］〜［用紙種類設定：トレイ4］のどれかを押します。



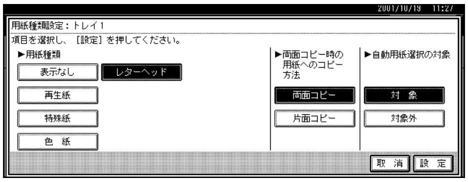
補足

- ❒ オプションの給紙テーブルを装着しているときには、「トレイ3」と「トレイ4」が表示されます。
- ❒ 手差しトレイの用紙サイズの設定については、P.38「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。

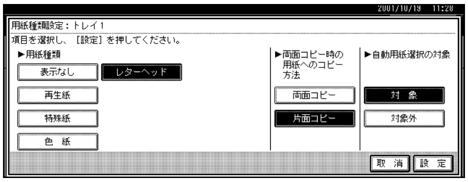
4

6 **用紙の種類と、両面コピー時のコピー方法などを設定します。**

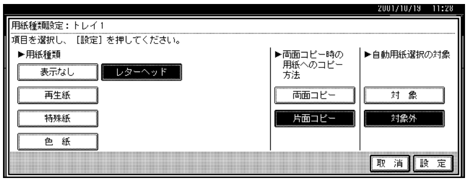
❶ **使用する用紙の種類を選択します。**



❷ **両面コピーを指定し場合、用紙の両面にコピーする場合は［両面コピー］を、片面だけにコピーしたい場合は［片面コピー］を選択します。**



❸ **用紙を自動用紙選択の対象にする場合は［対象］を、自動用紙選択の対象にしない場合は［対象外］を選択します。**



❹ **［設定］を押します。**

設定した用紙の種類などが表示されます。



7 **【初期設定／カウンター】キーを押します。**

通常の画面に戻ります。

用紙の種類の設定が完了しました。

手差しトレイに用紙をセットする

手差しトレイには、普通紙以外に厚紙やOHP、官製はがきやA3▭より大きい用紙など、給紙トレイ（標準）や給紙テーブル（オプション）にセットできない用紙をセットすることができます。

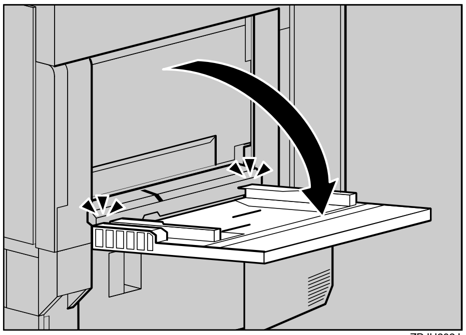
補足

- ❒ 手差しトレイにセットできる用紙サイズの範囲は、長さ148〜457mm、幅90〜305mmです。
- ❒ フリーサイズの用紙や特殊紙をセットするときは、必ず操作画面またはプリンタードライバーで用紙サイズを設定してください。操作画面の設定については、P.40「不定形サイズの用紙をセットしたとき」を参照してください。
- ❒ 厚紙、OHPフィルム、はがきなどをセットしたときは、必ず操作画面またはプリンタードライバーで厚紙またはOHPの設定をしてください。操作画面の設定については、P.41「用紙の種類を設定するとき」を参照してください。
- ❒ 手差しトレイにセットできる枚数は用紙の種類によって異なります。用紙の量は、サイドガイドにある上限表示（▼▼）を超えないようにしてください。

制限

- ❒ 手差しトレイから給紙したときの排紙先は、本体排紙トレイ（印刷面上面）になります。
- ❒ 手差しトレイにセットした用紙に印刷する場合、次の機能は使用できません。
  - 両面印刷
  - ソート、シフトソート
  - ステープル/パンチ
  - リミットレス給紙

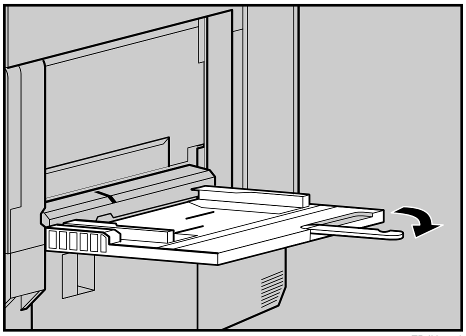
1 手差しトレイを開きます。



ZDJH202J

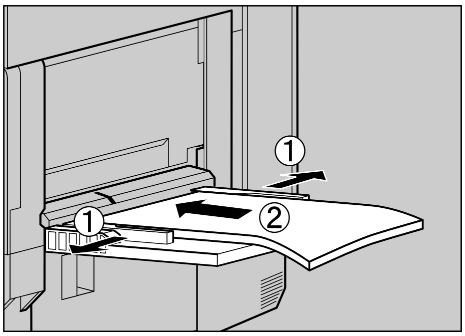
補足

- ❒ A4▱よりも大きなサイズをセットするときは、用紙支持板を引き出します。



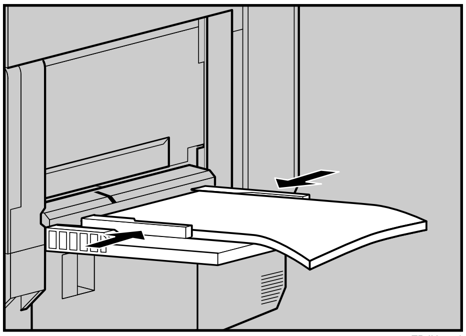
ZDJH203J

2 サイドガイドを広げ（①）、印刷する面を上にして、用紙を先端が突き当たるまで差し込みます（②）。



ZDJH204J

3 サイドガイドを用紙に押し当てます。



ZDJH205J

重要

- ❒ セットする用紙の量は、上限表示を超えないようにしてください。用紙を上限表示より上に積み重ねると、斜めに印刷されたり、紙づまりの原因になります。
- ❒ 複数の用紙が重なって送られないように、用紙をパラパラとさばいてからセットしてください。

4 操作画面で、セットした用紙のサイズを設定します。

❶ 【初期設定／カウンター】キーを押します。



ZFQS010J

初期設定／カウンター画面が表示されます。

❷ ［プリンター初期設定］を押します。

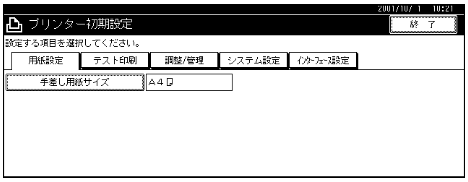


4

❸ ［用紙設定］タブを押します。



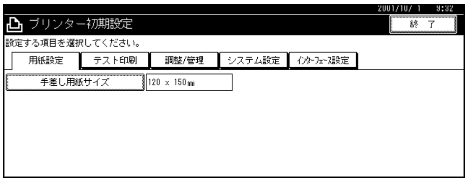
❹ ［手差し用紙サイズ］を押します。



❺ セットした用紙サイズとセット方向の組み合わせを選択して、［設定］を押します。



設定した用紙サイズが表示されます。



参照

フリーサイズ（長さ148mm〜457mm×幅90mm〜305mm）の用紙をセットするときは、P.40「不定形サイズの用紙をセットしたとき」を参照してください。

❻ 【初期設定／カウンター】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

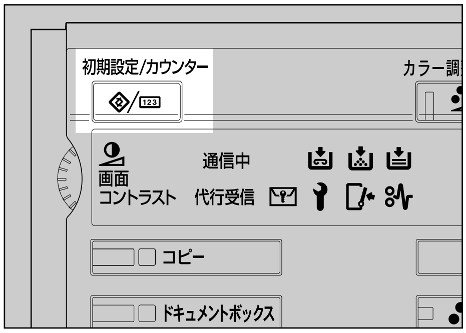
不定形サイズの用紙をセットしたとき

手差しトレイには、長さ148mm〜457mm×幅90mm〜305mmのサイズの不定形の用紙をセットできます。不定形の用紙をセットした場合は、用紙サイズの設定が必要です。

重要

- ❒ 不定形サイズの設定では、操作画面での設定よりも、プリンタードライバーでの設定が優先されます。プリンタードライバーで設定する場合は、操作画面での設定は不要です。ただし、RPCSプリンタードライバー以外を利用して印刷するときは、操作画面で設定する必要があります。プリンタードライバーについては、「プリンタードライバーのヘルプ」を参照してください。
- ❒ 不定形サイズの設定ができないアプリケーションでは、不定形サイズの用紙による印刷はできません。

1 【初期設定／カウンター】キーを押します。



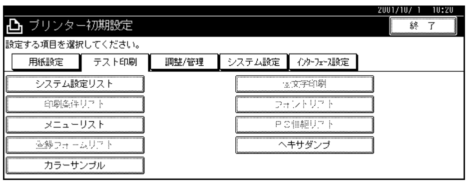
ZFQS010J

初期設定／カウンター画面が表示されます。

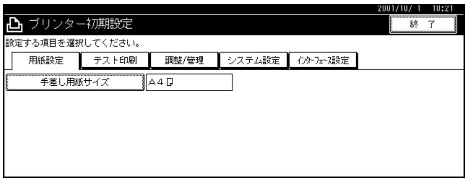
2 ［プリンター初期設定］を押します。



3 ［用紙設定］タブを押します。

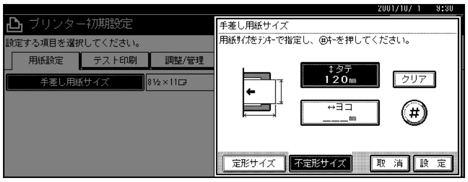


4 **画面下の［手差し用紙サイズ］を押します。**



5 **用紙のサイズを入力します。**

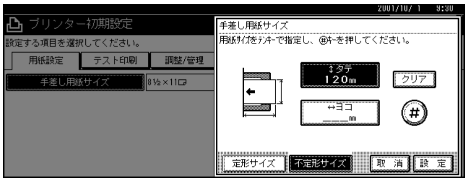
❶ **用紙の縦サイズを［タテ］の欄にテンキーで入力し、［#］を押します。**



補足

- ❒ ［ヨコ］の欄が反転表示されているときは、［タテ］を押すと［タテ］の欄が反転表示され、入力可能な状態になります。
- ❒ ［クリア］を押すと、表示された値がクリアされます。

❷ **用紙の横サイズを［横］の欄にテンキーで入力し、［#］を押します。**

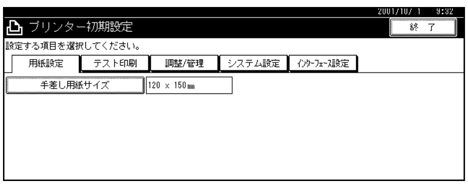


補足

- ❒ ［タテ］の欄が反転表示されているときは、［ヨコ］を押すと［ヨコ］の欄が反転表示され、入力可能な状態になります。

❸ **［設定］を押します。**

設定した用紙サイズが表示されます。



6 **【初期設定／カウンター】キーを押します。**

通常の画面に戻ります。

用紙サイズの設定が完了しました。

用紙の種類を設定するとき

セットした用紙の種類を設定することで、より適切な印刷やコピーができます。設定できる用紙種類は、以下のとおりです。

- 普通紙、再生紙、特殊紙、色紙、厚紙、OHP、ラベル紙、普通紙（裏面）、厚紙（裏面）

重要

- ❒ 厚紙、OHP、ラベル紙を手差しトレイにセットしたときは、必ず用紙種類を設定してください。
- ❒ 用紙種類の設定では、操作画面での設定よりも、プリンタードライバーでの設定が優先されます。
- ❒ 本機以外のプリンターで印刷した用紙は使用しないでください。

参照

プリンタードライバーでの設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

制限

- ❒ 手差しトレイにセットした用紙に印刷する場合、次の機能は使用できません。
  - 両面印刷
  - ソート、シフトソート
  - ステープル/パンチ
  - リミットレス給紙

4

1 【初期設定／カウンター】キーを押します。



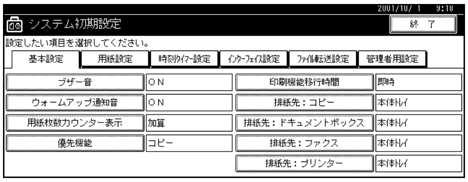
ZFQS010J

初期設定／カウンター画面が表示されます。

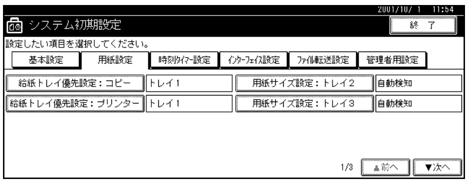
2 ［システム初期設定］を押します。



3 ［用紙設定］タブを押します。



4 画面下の［▼次へ］を押します。



5 ［用紙種類設定：手差しトレイ］を押します。



6 用紙の種類を選択し、［設定］を押します。



設定した用紙の種類が表示されます。



7 【初期設定／カウンター】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

用紙の種類の設定が完了しました。

用紙に関する注意

用紙をセットするとき

重要

- ❒ インクジェット専用紙は使用しないでください。定着ユニットに巻き付く原因になります。
- ❒ OHPフィルムをセットするときは、印刷面を上にセットしてください。裏表を誤ると、定着ユニットに巻き付く原因になります。
- ❒ リコー推奨の用紙をご利用ください。それ以外を使用した場合の印刷結果は保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。リコー推奨の用紙については、P.91「用紙」を参照してください。
- ❒ 他のプリンターで一度印刷した用紙は使用しないでください。

用紙を保管するとき

- プリンターに適切な用紙でも、保存状態が悪い場合は、紙づまりや印刷品質の低下、故障の原因となることがあります。用紙は以下の点に注意して保管してください。
  - 湿気の多いところには置かない。
  - 直射日光の当たるところには置かない。
  - 用紙は立てかけない。
- 残った用紙は購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。

用紙の種類ごとの注意

❖ 普通紙

- 給紙トレイ（標準）でも給紙テーブル（オプション）でも印刷することができます。
- 給紙トレイ（標準）に一度にセットできるのは、最大550枚です。*1
  500枚給紙テーブルに一度にセットできるのは、最大550枚です。*1
  1000枚給紙テーブルに一度にセットできるのは、最大1100枚です。*1
  2000枚給紙テーブルに一度にセットできるのは、最大2000枚です。*1
  セットする用紙の量は、給紙トレイ内に表示された上限表示（▼▼）を超えないようにしてください。

  *1　リコー PPC用紙タイプ6200の場合
- 手差しトレイにセットできる不定形用紙のサイズは、長さ148〜457mm、幅90〜305mmです。
- 手差しトレイで両面印刷する場合、裏面に印刷するときはプリンタードライバーで、「普通紙（裏面）」を選択してください。

❖ 厚紙

- 手差しトレイにセットしてください。
- 135kg紙(163g/m^2)までの用紙をセットできます。これ以上の用紙への印刷は保証できません。
- セットする用紙の量は、手差しトレイ内に示された上限表示（▼▼）を超えないようにしてください。用紙方向を▱にセットしてください。
- プリンタードライバーの［用紙種類］の設定は、「厚紙」にしてください。
- 両面印刷する場合、裏面に印刷するときはプリンタードライバーで、「厚紙（裏面）」を選択してください。

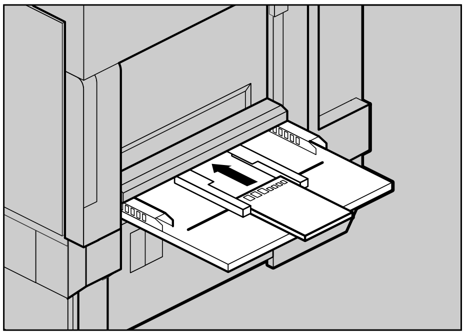
4

❖ OHPフィルム

- 手差しトレイにセットしてください。
- 印刷面を上にして用紙方向を□にセットしてください。裏表を誤ると定着ユニットに巻き付く原因になります。
- OHPフィルムは印刷のたびにセットしてください。手差しトレイにセットしたまま放置していると、密着して用紙送りを妨げる原因になります。
- OHPフィルムはリコー推奨の用紙をご利用ください。推奨している用紙については、P.91「用紙」を参照してください。
- プリンタードライバーの［用紙種類］の設定は、「OHPフィルム」にしてください。
- OHPフィルムを印刷するときに、プリンタードライバーの設定項目「合紙」がチェックされていない場合は、1枚印刷するごとに排紙トレイからOHPフィルムを取り除いてください。
- 手差しトレイにセットするOHPフィルムの量は、手差しトレイ内に示された上限表示(▼▼)を超えないようにしてください。

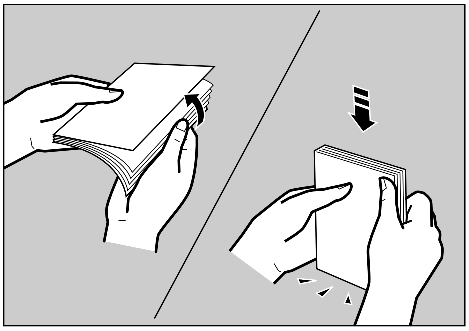
❖ 官製はがき

- 手差しトレイに、印刷面を上にしてセットしてください。



ZDJY201J

- 図のようにはがきをさばいてから、端をそろえてセットしてください。



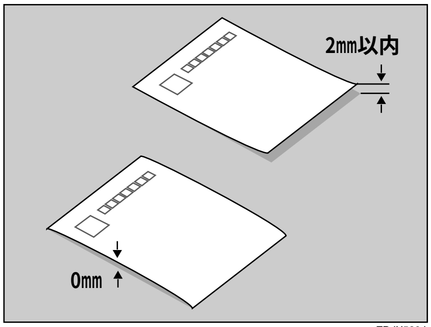
ZDJY202J

- 手差しトレイに一度にセットできるのは、最大40枚です。ただし、はがきの量がサイドガイドにある上限表示（▼▼）を超えないようにしてください。

重要

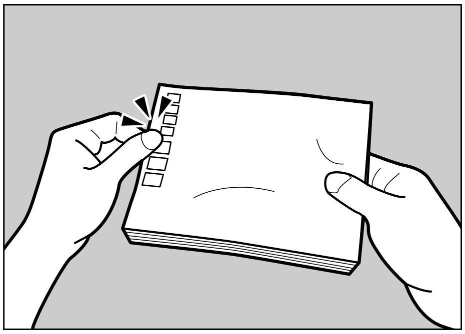
❒ はがきが反っていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響が出る場合があります。セットする前に、反りが以下の範囲になるように直してください。宛名側の面に印刷するときは、下図のように反りを直します。

- 印刷面に対して、下方向へはできるだけ0mmに近づけるようにする。
- 印刷面に対して、上方向へは反りが約2mm以内になるようにする。



ZDJX520J

❒ はがきの先端部が曲がっていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響が出る場合があります。セットする前に先端部を図のように指でのして曲がりを直してください。



- 使用できるのは官製はがきだけです。以下のはがきは使用できません。
  - 私製はがき
  - 往復はがき（折り目のついているもの）
  - 絵はがきなどの厚いはがき
  - 年賀状、かもめーるなど再生紙のはがき
  - 絵入りはがきなど、裏映り防止用の粉のついているはがき
  - インクジェットプリンター専用はがき
  - 他のプリンターで一度印刷したはがき
  - 表面加工されているはがき
  - 表面に凸凹のあるはがき
- プリンタードライバーの［原稿サイズ］の設定を「官製ハガキ」に、［用紙種類］の設定を「厚紙」にしてください。

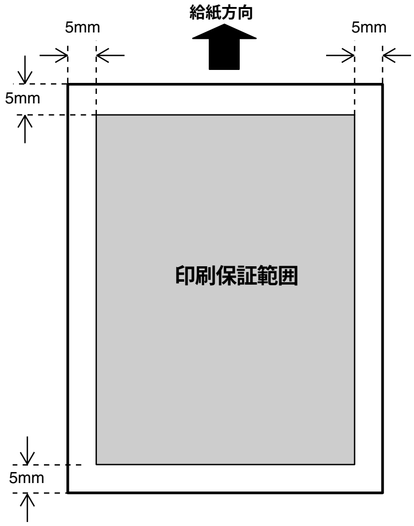
❖ 使用できない用紙

以下の用紙は使用できません。

- インクジェット専用紙
- しわ、折れ、破れ、端部が波打っている用紙
- カールのある用紙
- 湿気を吸っている用紙
- 乾燥して静電気が発生している用紙
- 他のプリンターで一度印刷した用紙
- 表面加工された用紙
- 感熱紙やノンカーボン紙など特殊な用紙
- 厚さが規定以外の用紙（極端に厚い・薄い用紙）
- ミシン目や穴などの加工がされている用紙
- 糊がはみ出したり、台紙が見えるラベル紙
- ステープラー・クリップなどを付けたままの用紙
- 封筒

印刷保証範囲

本機の印刷保証範囲は以下のとおりです。



4

メッセージが表示されたとき

操作画面に表示されるメッセージ

プリンターとしてご使用中、操作画面にエラーメッセージが表示されたときは、以下の表を参考にして対処してください。

参照

プリンター以外の機能をご使用中のエラーメッセージにつきましては、それぞれコピー編、ファクス編の使用説明書を参照してください。

補足

❒ システム設定の「エラー表示」の設定によって、表示されないメッセージもあります。

❖ 状態表示メッセージ

メッセージ	原因	対処方法・参照先
印刷できます	印刷可能な状態です。	
印刷中です	印刷実行中です。	
ウエイティング	データ待ちの状態です。	
オフライン	オフライン状態です。	印刷したいときは［オンライン］を押して、オンライン状態にしてください。
おまちください	準備中またはトナー補給中です。	「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。
カラー調整中です。	色ずれ補正、状態維持動作中です。	しばらくお待ちください。
ジョブリセット中です	印刷ジョブをリセット中です。	しばらくお待ちください。
トナー補給中	トナーを補給中です。	しばらくお待ちください。
ヘキサダンプ中	印刷不良の原因を調べるためのデータを16進数で印刷中です。	印刷終了後に電源を切り、再度電源を入れてください。
ユニット初期調整中です。	現像ユニット交換後の初期調整中です。	調整が終わるまでしばらくお待ちください。調整中に電源を切らないでください。故障の原因になります。

❖ エラーコードが表示されないメッセージ

メッセージ	原因	対処方法・参照先
DIMMサム値エラーです。	拡張エミュレーションモジュールに異常が発生しました。	サービス実施店に連絡してください。
HDDボードのエラーです。	ハードディスクに異常が発生しました。	本機の主電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度主電源を入れてください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。 **参照** 主電源を切る前に、使用説明書＜システム設定編1スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「本機を使うための準備」（電源の入れかた、切りかた）を参照してください。
IEEE1394ボードのエラーです。	拡張1394ボードに異常が発生しました。	サービス実施店に連絡してください。
PCから蓄積文書の印刷ができません。 トレイ#に用紙を補給してください。	蓄積文書印刷中にトレイ#の用紙がなくなりました。	トレイ#に用紙を補給してください。
SDRAMモジュールを認識できません。 サービスにご連絡ください。	SDRAMモジュールに異常が発生しました。	サービス実施店に連絡してください。
イーサネットエラーです。	コントローラーボード上のネットワーク機能にエラーが発生しました。	本機の主電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度主電源を入れてください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。 **参照** 主電源を切る前に、使用説明書＜システム設定編1スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「本機を使うための準備」（電源の入れかた、切りかた）を参照してください。
エラー発生中 下記の個所にエラーが発生しました。 主電源を一度切ってから入れ直してください。再度エラーが発生したときには、お手数ですがサービスにご連絡ください。 他の機能は使用できます。	操作画面に表示されている位置にエラーが発生しました。	本機の主電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度主電源を入れてください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。 **参照** 主電源を切る前に、使用説明書＜システム設定編1スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「本機を使うための準備」（電源の入れかた、切りかた）を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法・参照先
エラー発生中 下記のユニットは故障しています。 お手数ですがサービスに修理をご依頼ください。	操作画面に表示されているユニットが故障しました。	サービス実施店に連絡してください。
下記の排紙先が満杯になりました。用紙を取り除いてください。	プリンター本体の排紙トレイ、またはオプションのフィニッシャートレイが満杯になりました。	プリンター本体の排紙トレイ、またはオプションのフィニッシャートレイの用紙を取り除いてください。
カバーオープン カバーが開いています。 白黒反転している、または矢印の図の部分を閉めてください。	操作画面の図が示す位置のカバーが開いています。	図に示された位置のカバーを閉めてください。
感光体ユニットセット不良 感光体ユニットがセットされていません：ブラック／イエロー／マゼンタ／シアン 白黒反転している部分を開けて、正しくセットしてください。	操作画面に表示されている色の感光体ユニットがない、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
感光体ユニットの交換時期がきました。 感光体ユニットを交換してください。	感光体ユニットカラー（計3本）、または感光体ユニットブラックの交換時期になりました。	サービス実施店に連絡してください。
給紙トレイ#エラー。 主電源を入れ直してください。 再度同じエラーが発生の場合はサービスにご連絡ください。	給紙トレイ#（1～4）に異常が発生しています。	本機の主電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度主電源を入れてください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。 **参照** 主電源を切る前に、使用説明書＜システム設定編1スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「本機を使うための準備」（電源の入れかた、切りかた）を参照してください。
給紙トレイ#を正しくセットしてください。 他のトレイから強制印刷する場合は、使用するトレイを選択して［実行］キーを押してください。 A4再生紙	給紙トレイ#（1～4）がセットされていない、または正しくセットされていません。	給紙トレイ#（1～4）を正しくセットしてください。 ほかのトレイの用紙で強制印刷するときは、操作画面で使用する給紙トレイを選択して、［実行］キーを押してください。印刷を中止するときは、［ジョブリセット］キーを押してください。 **補足** ❒ 表紙／合紙を指定している場合は、ほかのトレイの用紙での強制印刷ができません。［ジョブリセット］キーを押してください。

メッセージ	原因	対処方法・参照先
原稿ミスフィード 下記の個所に原稿がつまっています。 矢印の部分を開けて原稿を取り除いてください。	操作画面の図が示す位置に紙づまりが発生しました。	図に示された位置の原稿を取り除いてください。 ⇒ P.66「つまった用紙を取り除く」
現像ユニット交換 現像ユニットの交換時期がきました。 現像ユニットを交換してください。	現像ユニットカラー（計3本）、または現像ユニットブラックの交換時期になりました。	サービス実施店に連絡してください。
現像ユニットセット不良 現像ユニットがセットされていません：ブラック／イエロー／マゼンタ／シアン 白黒反転している部分を開けて、正しくセットしてください。	操作画面に表示されている色の現像ユニットがない、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
サーバーと通信できません。 管理者にご連絡ください。	ネットワーク設定に異常があります。	ネットワークを正しく接続して、サーバーに電源が入っていることを確認してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、管理者またはサービス実施店に連絡してください。
指定した用紙サイズと用紙種類に合った給紙トレイがありません。トレイの設定を下記の用紙サイズと用紙種類に変更するか、強制印刷するトレイを選択して、［実行］キーを押してください。 A4 再生紙	自動用紙選択が指定されていますが、指定した用紙のサイズと種類に合った給紙トレイがありません。 **補足** ❒ 上記メッセージが表示され、給紙トレイに（スパナマーク）が表示されている場合は、給紙トレイが故障しています。	指定した用紙をトレイ#（1～4、手差し）にセットすると、エラーメッセージが消えます。 指定した用紙とは別の用紙で強制印刷するときは、操作画面で使用する給紙トレイを選択して、［実行］キーを押してください。印刷を中止するときは、［ジョブリセット］キーを押してください。 **補足** ❒ 表紙／合紙を指定している場合は、強制印刷ができません。［ジョブリセット］キーを押してください。
ステープルエラーです。 サービスにご連絡ください。	ステープラーが異常です。	サービス実施店に連絡してください。
ステープルトレイに用紙が残っています。 用紙を取り除いてください。	ステープルトレイに用紙が残っています。	用紙を取り除いてください。
ステープルの針がもうすぐなくなります。針を補給してください。	ステープルの針が残り少なくなりました。	ステープラーの針を補給してください。
選択されている給紙トレイに用紙を補給してください。	指定した給紙トレイに用紙がありません。	用紙を補給してください。

メッセージ	原因	対処方法・参照先
定着オイルユニット交換 定着オイルがなくなりました。 矢印の部分を開けて、定着オイルユニットを交換してください。	定着オイルがなくなりました。	サービス実施店に連絡してください。
定着オイルユニット交換 定着オイルがもうすぐなくなります。 矢印の部分を開けて、定着オイルユニットを交換してください。	定着オイルが残り少なくなりました。	サービス実施店に連絡してください。
定着オイルユニットセット不良 定着オイルユニットがセットされていません。 矢印の部分を開け正しくセットしてください。	本機対応の定着オイルユニットがセットされていない、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
定着ユニット交換 定着ユニットの交換時期がきました。 矢印の部分を開けて、定着ユニットを交換してください。	定着ユニットの交換時期になりました。	サービス実施店に連絡してください。
定着ユニットセット不良 定着ユニットがセットされていません。 矢印の部分を開け正しくセットしてください。	本機対応の定着ユニットがセットされていない、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
トナーがもうすぐなくなります：ブラック／イエロー／マゼンタ／シアン トナーを補給してください。	操作画面に表示されている色のトナーが残り少なくなりました。	操作画面に表示されている色のトナーカートリッジを交換してください。
トナーセット不良 トナーがセットされていません：ブラック／イエロー／マゼンタ／シアン 白黒反転している部分を開けて、正しくセットしてください。	操作画面に表示されている色のトナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていません。	操作画面に表示されている色のトナーカートリッジを正しくセットしてください。 ⇒ P.3「消耗品を交換する」
トナー補給 トナーがなくなりました：ブラック／イエロー／マゼンタ／シアン 白黒反転している部分を開けて、説明にしたがいトナーを補給してください。	操作画面に表示されている色のトナーがなくなりました。	操作画面に表示されている色のトナーカートリッジを交換してください。 ⇒ P.3「消耗品を交換する」

メッセージ	原因	対処方法・参照先
トレイ#に用紙がありません。 トレイに用紙を補給してください。 他のトレイから強制印刷する場合は、使用するトレイを選択して、［実行］キーを押してください。 A4▯再生紙	トレイ#（1～4、手差し）の用紙がなくなりました。	給紙トレイ（1～4、手差し）に用紙を補給してください。 ほかのトレイの用紙で強制印刷するときは、操作画面で使用する給紙トレイを選択して、［実行］キーを押してください。印刷を中止するときは、［ジョブリセット］キーを押してください。 **補足** ❒ 表紙／合紙を指定している場合は、強制印刷ができません。［ジョブリセット］キーを押してください。
トレイ#の設定内容は、指定した用紙サイズ／用紙種類と異なっています。 下記の用紙サイズ／用紙種類に変更するか、強制印刷するトレイを選択して、［実行］キーを押してください。 A4▯再生紙	トレイ#（1～4、手差し）の用紙サイズ／用紙種類が、指定した用紙サイズ／用紙種類と違っています。	指定したサイズ／種類の用紙をトレイ#（1～4、手差し）にセットすると、エラーメッセージが消えます。 ほかの用紙で強制印刷するときは、操作画面で使用する給紙トレイを選択して、［実行］キーを押してください。印刷を中止するときは、［ジョブリセット］キーを押してください。 **補足** ❒ 表紙／合紙を指定している場合は、強制印刷ができません。［ジョブリセット］キーを押してください。
ネットワークに接続できません。 IPアドレスの設定を確認してください。	ネットワーク設定に異常があります。	正しいIPアドレスを設定してください。 ⇒使用説明書＜システム設定編1スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「本機を使うための準備」 それでも同じメッセージが表示されるときは、管理者またはサービス実施店に連絡してください。
ネットワークに接続できません。 管理者にご連絡ください。	ネットワーク設定に異常があります。	ネットワークを正しく接続して、他の機器に電源が入っていることを確認してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、管理者またはサービス実施店に連絡してください。
廃トナーボトルが満杯です。 廃トナーボトルを交換してください。	廃トナーボトルが満杯になりました。	サービス実施店に連絡してください。
廃トナーボトルがもうすぐ満杯です。 廃トナーボトルを交換してください。	廃トナーボトルがもうすぐ満杯になります。	サービス実施店に連絡してください。

5

メッセージ	原因	対処方法・参照先
廃トナーボトルセット不良 廃トナーボトルがセットされていません。 白黒反転している部分を開けて、正しくセットしてください。	廃トナーボトルがセットされていない、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
ハードディスクが一杯になりました。 不要な文書を消去してください。	ハードディスクが一杯になりました。	本機に保存してある文書データを消去してください。
パラレルI/Fエラーです。	パラレルインターフェースが異常が発生しました。	パラレルインターフェースをご使用の場合は、適切なインターフェースケーブルを使用してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。 ⇒使用説明書＜システム設定編1スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「本機を使うための準備」
パンチくずが満杯になりました。	2000枚フィニッシャーのパンチくずが満杯になりました。	パンチくずを廃棄してください。⇒P.83「パンチくずがいっぱいになったとき」 パンチくずが満杯になっていないのにメッセージが表示される場合は、パンチくず箱の上部に付着しているパンチくずを取り除いてください。⇒P.83「パンチくずを廃棄してもメッセージが表示される場合」
ファクスの印刷ができません。 用紙を補給してください。	用紙切れのため、ファクス受信文書が印刷できません。	用紙をセットしてください。
フィニッシャーに用紙が残っています。 カバーを開けて用紙を取り除いてください。	オプションの2000枚フィニッシャーで紙づまりが発生しました。	2000枚フィニッシャーのカバーを開けて用紙を取り除いてください。⇒P.73「用紙ミスフィード：Rが表示されているとき」
他の機能で給紙トレイを使用中です。しばらくおまちください。	指定した給紙トレイが、コピーなど他の機能で使われています。	他の機能が指定した給紙トレイを使い終わるまで、そのままお待ちください。
他の機能でステープルを使用中です。しばらくおまちください。	ステープルが、コピーなど他の機能で使われています。	他の機能がステープルを使い終わるまで、そのままお待ちください。
他の機能でフィニッシャーを使用中です。しばらくおまちください。	オプションの2000枚フィニッシャーが、コピーなど他の機能で使われています。	他の機能が2000枚フィニッシャーを使い終わるまで、そのままお待ちください。
用紙ミスフィード 下記の個所に用紙がつまっています。 前カバー裏の説明にしたがい、白黒反転している、または矢印の部分を開けて用紙を取り除いてください。	操作画面の図が示す位置に紙づまりが発生しました。	図に示された個所の原稿を取り除いてください。 ⇒P.66「つまった用紙を取り除く」

メッセージ	原因	対処方法・参照先
両面ユニットに用紙が残っています。カバーを開けて用紙を取り除いてください。	両面反転ユニットで紙づまりが発生しました。	両面反転ユニットのカバーを開けて用紙を取り除いてください。⇒ P.75「用紙ミスフィード：Z1が表示されているとき」
両面ユニットのカバーを閉めてください。	両面反転ユニットのカバーが開いています。	両面反転ユニットのカバーを閉めてください。
両面搬送ユニットがセットされていません。 正しくセットしてください。	両面搬送ユニットがセットされていない、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。

❖ **エラーコードが表示されるメッセージ**

エラーメッセージ	原因	対処方法
84：ワークエラー *2	イメージ処理用のワークエリアがありません。	送信データを減らすか、SDRAMモジュールを増設してください。 SDRAMモジュールを増設する場合は、サービス実施店に相談してください。
85：グラフィック *1	RPCSでグラフィックメモリーの初期化に失敗しました。	SDRAMモジュールに不具合が発生している可能性があります。詳しくはサービス実施店に相談してください。
86：パラメーター	制御コードのパラメーターが不適当です。	正しいパラメーターを設定してください。 パソコン側で印刷をキャンセルすると、このエラーが出る場合があります。 また、パソコン側のHDD容量が少ない場合は、印刷データのすべてをスプールできず、エラーが発生する場合があります。
86：パラメーター *1	RPCSで文法エラーが発生しました。	プリンタードライバーが本機と整合していない可能性があります。プリンターの機種や、選択しているエミュレーションに合ったプリンタードライバーをお使いください。 パソコンとプリンターの間で何か障害が発生している可能性があります。正しく接続されているか確認してください。
87：メモリーオーバー *2	フリーサイズのためのメモリー領域がありません。	サイズの指定を小さくするか、SDRAMモジュールを増設してください。SDRAMモジュールを増設する場合は、サービス実施店に相談してください。
90：メディアフル *2	RPDLまたはR55で、HDDユニットの空き領域が少なくなりました。	登録されているフォントやフォームのうち不要なものを削除してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
92：メモリーオーバー[*2]	イメージオーバーレイのためのメモリー領域が不足しています。	ドライバーの設定で解像度を落とし送信データを減らしてください。 SDRAMモジュールを増設してください。SDRAMモジュールを増設する場合は、サービス実施店に相談してください。
92：メモリーオーバー[*1]	作業用メモリーが不足しているためRTIFFが動作できません。	SDRAMモジュールを増設してください。SDRAMモジュールを増設する場合は、サービス実施店に相談してください。
92：データがキャンセルされました。[*4]	本機の操作画面で［ジョブキャンセル］を押したことにより、印刷が中止されました。	―
93：メモリーオーバー[*2]	外字またはフォントなどを登録するメモリー領域が足りません。	送信データを減らすか、SDRAMモジュールを増設してください。SDRAMモジュールを増設する場合は、サービス実施店に相談してください。
94：ダウンロード	フォントのダウンロードデータに誤りがありました。	フォントセットダウンロードのパラメーターを修正してください。
94：ダウンロード[*1]	RPCSプリンタードライバーで指定されたメモリーサイズが、搭載メモリーより大きな値です。	本機とパソコンの接続を確認してください。 お使いになっているアプリケーションをいったん終了させ、再起動してみてください。 本機およびパソコンの電源を入れ直してください。
95：フォントエラー[*2]	存在しない文字の印字要求がありました。	文字コードを正しく設定してください。
96：文字セットエラー[*2]	存在しないフォントセットの選択要求がありました。	送信データを修正してください。
96：セレクトエラー[*2]	指定されたフォントを選択できません。	存在するフォントを選択するように、パラメーターを修正してください。
97：アロケーションエラー[*2]	フォントを登録する領域がありません。	SDRAMモジュールを増設してください。SDRAMモジュールを増設する場合は、サービス実施店に相談してください。
98：アクセスエラー[*2]	HDDユニットへのアクセスがうまくできませんでした。	主電源スイッチを入れ直してください。メッセージが多発するときは、サービス実施店に相談してください。 **参照** 主電源を切る前に、使用説明書＜システム設定編1スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「本機を使うための準備」(電源の入れかた、切りかた)を参照してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
99：ワーニング [*2]	RTIFFのデータ処理中にエラーが発生しました。	詳しくは使用説明書<RTIFF編>を参照してください。
99：データエラー [*1]	RTIFFのデータ処理中に致命的なエラーが発生しました。	詳しくは使用説明書<RTIFF編>を参照してください。
9A：受信エラー [*2]	R55の3バイトエラーチェックで受信エラーが発生しました。	主電源スイッチを入れ直してください。 **参照** 主電源を切る前に、使用説明書<システム設定編1スキャナーユニットタイプ8100対応版>「本機を使うための準備」（電源の入れかた、切りかた）を参照してください。
A3：オーバーフロー	受信バッファがオーバーフローしました。	送信ページ数を減らしてください。
A4：ソートオーバー	ソートできる枚数をオーバーしています。	SDRAMモジュールを増設してください。SDRAMモジュールを増設する場合は、サービス実施店に相談してください。
A6：ページフル	ページ印刷中にページ画像が破棄されました。	ドライバーの設定で解像度を落とし送信データを減らしてください。 SDRAMモジュールを増設してください。SDRAMモジュールを増設する場合は、サービス実施店に相談してください。
A7：ドローエラー [*2]	描画処理中にエラーが発生しました。	SDRAMモジュールを増設してください。SDRAMモジュールを増設する場合は、サービス実施店に相談してください。
A8：ライブラリー [*2]	ライブラリー描画中にエラーが発生しました。	SDRAMモジュールを増設してください。SDRAMモジュールを増設する場合は、サービス実施店に相談してください。
A9：ページエラー	試し印刷、機密印刷でページオーバーが発生しました。	印刷するページ数を減らしてください。
AA：文書数エラー	試し印刷または機密印刷で文書数オーバーが発生しました。	本機に登録されている文書のうち不要なものを消去してください。
AB：ハードディスクフル	試し印刷または機密印刷で、HDDユニットがオーバーフローしました。	本機に登録されている文書のうち不要なものを消去してください。 または、試し印刷・機密印刷しようとしている文書のサイズを小さくしてください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
AC：ハードディスクフル[*2]	PS3で、フォームまたはフォント用のHDD領域がオーバーしました。	本機に登録されているフォームまたはフォントのうち不要なものを削除してください。
BA：ユーザーコードが正しくないため、ジョブをキャンセルしました。	利用者制限でユーザーコードが受け付けられなかったため、ジョブがキャンセルされました。	ユーザーコードの許可条件を確認してください。
BC：ソートエラー	ソートが解除されました。	主電源スイッチを入れ直してください。それでも同じエラーになるときは、サービス実施店に連絡してください。 **参照** 主電源を切る前に、使用説明書＜システム設定編1スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「本機を使うための準備」（電源の入れかた、切りかた）を参照してください。
BD：ステープルエラー	ステープルが解除されました。	用紙方向と印刷向きと後処理の位置指定を確認してください。
BE：パンチエラー	2000枚フィニッシャーのパンチ機能が解除されました。	用紙の方向、印刷の向き、パンチの位置指定を確認してください。
BF：両面エラー	両面印刷が解除されました。	両面印刷可能なサイズの用紙を使用してください。 またトレイが両面禁止の設定になっていないか確認してください。
C0：エラー[*2]	RP-GL/2の印刷で内部エラーが発生しました。	主電源スイッチを入れ直してください。 **参照** 主電源を切る前に、使用説明書＜システム設定編1スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「本機を使うための準備」（電源の入れかた、切りかた）を参照してください。
C1：コマンドエラー[*2]	無効なコマンドを受信しました。	次のいずれかを行ってください。[*1] • OE、INコマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
C2：パラメータ数エラー[*2]	パラメーターの数が不適当です。	
C3：パラメータ範囲エラー[*2]	パラメーターの範囲が不適当です。	
C6：ポジションエラー[*2]	印刷位置が不適当です。	
C7：ポリゴンサイズエラー[*2]	ポリゴンバッファが不足しています。	

エラーメッセージ	原因	対処方法
D0：応答エラー *2	応答コマンド実行中に、次の応答コマンドの実行要求がありました。	次のいずれかを行ってください。*1 • ESC.Eコマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
D1：コマンドエラー *2	無効なデバイスコントロールコマンドを受信しました。	
D2：無効パラメーターエラー *2	デバイスコントロールコマンドのパラメータの中に無効な1バイトを受信しました。	
D3：パラメータ範囲エラー *2	デバイスコントロールコマンドのパラメータが有効範囲を超えています。	
D4：パラメータ数エラー *2	デバイスコントロールコマンドのパラメータ数が不適当です。	
DC：フォントセレクトエラー *2	指定したフォントをセレクトできません。	次のいずれかを行ってください。*1 • OE、INコマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
DD：フォントエラー *2	指定したフォントがフォントテーブルにありません。	
DE：パラメータ範囲エラー *2	文字サイズが不適当です。	
DF：ワークメモリーエラー *2	シェーディング実行のための領域が不足しています。	SDRAMモジュールを増設してください。SDRAMモジュールを増設する場合は、サービス実施店に相談してください。 SDRAMモジュールを増設していてこのメッセージが表示されるときは、データの量を減らしてください。
EA：排紙先変更	排紙先の用紙サイズ制限のため、排紙先を変更しました。	正しい排紙先を指定してください。

*1 **このメッセージは、プリンター初期設定の「エラー表示」を「簡易表示」に設定していても表示される場合があります。**

*2 **このメッセージは、オプションのエミュレーションモジュールを搭載しているときに表示されます。**

*3 **これらの対処方法は、一時的にエラーを解除するためのものです。エラーの原因はパソコンから送信されたデータ側にあるので、データそのものを見直してください。**

*4 **このメッセージは操作画面には表示されません。エラー履歴を印刷したときにのみ、エラー履歴に印刷されます。**

それでも印刷が開始されないときは、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の連絡先については、プリンターを購入した販売店にお問い合わせください。

補足

- ❒ エラーの内容は、システム設定リストや印刷条件一覧に印刷される場合があります。あわせてご確認ください。システム設定リストの印刷方法については、使用説明書＜システム設定編 1 スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「本機を使用するための準備」（テスト印刷）を参照してください。

印刷がはじまらないとき

パソコンから印刷を実行しても印刷が開始されないときは、以下のことを確認してください。

確認すること	原因・対処方法・参照先
電源が入っていますか？	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認し、主電源スイッチを「❙ On」側にしてください。
インターフェースケーブルは正しく接続されていますか?	インターフェースケーブルがパソコン、プリンター本体にしっかりと接続されていることを確認してください。コネクターに金具がついているときは、金具を使用して固定してください。 ⇒使用説明書＜システム設定編1スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「本機を使うための準備」
インターフェースケーブルは適切なものを使用していますか?	使用するインターフェースケーブルはパソコンの種類によって異なります。適切なインターフェースケーブルを使用してください。また、断線が考えられる場合は、ほかのケーブルと交換してください。 ⇒使用説明書＜システム設定編1スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「本機を使うための準備」
「オンライン」になっていますか?	**【プリンター】**キーを押して、プリンター機能画面の［オンライン］を押して、オンライン状態にしてください。
画面に警告ステータスやエラーメッセージが表示されていませんか?	表示されている内容を確認して、エラーの対処をしてください。 ⇒ P.47「操作画面に表示されるメッセージ」
本機の状態表示ランプが赤色に点灯していませんか?	表示されている内容を確認して、エラーの対処をしてください。 ⇒ P.47「操作画面に表示されるメッセージ」
データインランプが点滅、点灯しますか？	印刷を実行してもデータインランプが点滅、点灯しないときは、プリンターにデータが届いていません。 • パソコンとケーブルで接続しているとき 印刷ポートの設定が適切かどうか確認してください。印刷ポートの確認方法は、次ページの補足を参照してください。 • パソコンとネットワークで接続しているとき ネットワークの管理者に相談してください。
用紙はセットされていますか?	用紙をセットしてください。 ⇒ P.33「用紙をセットする」
テスト印刷ができますか？	テスト印刷ができない場合は、本機が故障している可能性があります。サービス実施店に相談してください。 ⇒使用説明書＜システム設定編1スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「本機を使用するための準備」（テスト印刷）

それでも印刷が開始されないときは、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の連絡先については、本機を購入した販売店にお問い合わせください。

補足

❒ データインランプが点滅、点灯しないときの、印刷ポートの確認方法は以下のとおりです。

❖ パソコンとケーブルで直接接続しているとき

印刷ポートの設定が適切かどうか確認してください。パラレルインターフェースで接続しているときは、LPT1またはLPT2に設定します。

- Windows 95/98/Meの場合
  ① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。
  ② 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
  ③ ［詳細］タブをクリックします。
  ④ ［印刷先のポート］ボックスで正しいポートを選択します。
- Windows 2000の場合
  ① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。
  ② 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
  ③ ［ポート］タブをクリックします。
  ④ ［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。
- Windows NT4.0の場合
  ① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。
  ② 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
  ③ ［ポート］タブをクリックします。
  ④ ［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。

思いどおりに印刷できないとき

パソコンから印刷を実行しても思いどおりに印刷できないときは、以下のことを確認してください。

状態	原因・対処方法・参照先
用紙の印刷面に汚れが出る	操作画面に「感光体ユニットを交換してください。」と表示されている場合は、サービス実施店に連絡してください。
	印刷濃度を薄くして印刷してみてください。印刷濃度を調整するには、 ⇒ P.7 「清掃・調整する」
	用紙が反ったり、曲がったりしていませんか？ 用紙が反っていたり、曲がっていたりすると、汚れの原因になります。特にはがきに印刷する場合は反りが発生しやすいので、セットする前に必ず直してください。
用紙の裏面が汚れる	プリンター本体の給紙トレイまたは給紙テーブル（オプション）の用紙サイズと用紙の方向の自動検知を操作画面で解除し、任意の用紙サイズを設定した後に、異なるサイズの用紙を異なる方向で用紙をセットした可能性があります。操作画面で自動検知を設定するか、または操作画面で設定した用紙のサイズと方向に合った用紙をセットしてください。 ⇒ P.33 「用紙をセットする」 手差しトレイにセットしている用紙のサイズと方向が、操作画面の設定と合っていない可能性があります。操作画面で設定を確認し、セットした用紙のサイズと方向に合わせて設定し直してください。 ⇒ P.38 「手差しトレイに用紙をセットする」
	A4のデータをB5に印刷した場合など、印刷した用紙のサイズがデータの用紙サイズより小さいと、次に印刷した用紙の裏面が汚れることがあります。
全体がかすれる	操作画面に「トナーを補給してください。」と表示されている場合は、表示された色のトナーカートリッジを交換してください。 ⇒ P.3 「消耗品を交換する」
	印刷濃度を薄くして印刷してみてください。印刷濃度を調整するには、 ⇒ P.7 「清掃・調整する」
	プリンタードライバーの［印刷品質］タブで［トナーセーブ］をチェックしていると、全体的に薄く印刷されます。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ

5

状態	原因・対処方法・参照先
部分的にかすれる	印刷濃度を濃くしてください。 ⇒ P.7 「清掃・調整する」
	操作画面に「トナーを補給してください。」と表示されている場合は、表示された色のトナーカートリッジを交換してください。 ⇒ P.3 「消耗品を交換する」
	トナーカートリッジや感光体ユニットが正しくセットされているか確認してください。 ⇒ P.3 「消耗品を交換する」
	リコー推奨以外の用紙がセットされています。リコー推奨の用紙をご利用ください。 ⇒ P.31 「用紙について」
	本機の設置場所が傾いていないか確認してください。
白いスジが出る	防じんガラスを清掃してください。 ⇒ P.7 「清掃・調整する」
黒または色のついたスジが出る	原稿ガラスおよび自動原稿読み取り装置(ADF)を清掃してください。 ⇒ P.7 「清掃・調整する」
画像がぼやける	結露が発生すると画像がぼやけることがあります。寒い部屋から暖かい部屋に急に移動した場合など、結露が発生したときは、プリンター本体を室温に十分なじませてから印刷してください。
文字やグラフィックの周りがにじんだようになる	印刷濃度を薄くして印刷してみてください。 色のバランスをくずさないために、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローの値をそれぞれ均等に下げることをおすすめします。 ⇒ P.7 「清掃・調整する」
何度も用紙がつまる	給紙トレイ内のサイドフェンスがロックされていない可能性があります。確認してください。 ⇒ P.34 「給紙トレイ2（標準)、500枚給紙テーブル、1000枚給紙テーブルに用紙をセットするとき」 手差しトレイにセットしている用紙のサイズと方向が、操作画面の設定と合っていない可能性があります。操作画面で設定を確認し、セットした用紙サイズと方向に合わせて設定し直してください。 ⇒ P.38 「手差しトレイに用紙をセットする」
	給紙トレイのエンドフェンスがきちんとセットされているかどうか確認してください。
	反り・折れ・しわがある用紙、穴が空いている用紙、ツルツルすべる用紙を使用していませんか。推奨の用紙を使ってください。 ⇒ P.31 「用紙について」
画像が斜めに印刷される	給紙トレイ内のサイドフェンスがロックされていない可能性があります。確認してください。 ⇒ P.34 「給紙トレイ2（標準)、500枚給紙テーブル、1000枚給紙テーブルに用紙をセットするとき」
	プリンター本体の右下カバーがきちんと閉まっているか確認してください。

状態	原因・対処方法・参照先
用紙が一度に何枚も送られる	給紙コロが汚れていると用紙がつまりやすくなります。サービス実施店にご相談ください。
	用紙をよくさばいてからセットしてください。 ⇒ P.31 「用紙について」
給紙トレイにつまった用紙を取り除いたが、操作画面のエラーメッセージが消えない	紙づまりのメッセージが表示されたときは、給紙トレイの前カバーの開閉を行わないとエラーメッセージが消えません。つまった用紙を取り除いた後は、前カバーの開閉を行ってください。
思ったトレイとは違うトレイから給紙される	手差しトレイにセットしている用紙のサイズと方向が、操作画面の設定と合っていない可能性があります。操作画面で設定を確認し、セットした用紙サイズと方向に合わせて設定し直してください。 ⇒ P.38 「手差しトレイに用紙をセットする」
	Windowsから印刷するときは、操作画面で給紙トレイを選択しても、プリンタードライバーの設定が優先されます。プリンタードライバーで給紙するトレイを選択してください。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
画面どおりに印刷されない	変倍や集約を行うと、行の最後の文字が次の行に送られるなど、画面上とレイアウトが異なる印刷になることがあります。
	TrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換える設定で印刷していませんか？ 画面と同じ文字で印刷するには、TrueTypeフォントをイメージで印刷する設定を選択してください。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
意味不明の文字が印刷される	エミュレーションが正しく選択されていない可能性があります。エミュレーションを呼び出すには、**【プリンター】**キーを押して、プリンター機能画面の「エミュレーションプログラム」で［呼出］を押して、エミュレーションを選択します。
縦と横が逆に印刷される	セットした用紙方向とプリンタードライバーのオプションセットアップで設定した用紙方向が合っていない可能性があります。正しく設定してください。
印刷の指示をしてから1枚目の印刷が始まるまで時間がかかる	データ量が多いために処理に時間がかかっている場合があります。データインランプが点滅していれば、プリンターにデータは届いています。そのままお待ちください。
	節電のためオフモードになっている可能性があります。省エネモードになっていると、ウォームアップをするため、印刷開始までに時間がかかります。 ⇒使用説明書＜システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「システム初期設定」
	プリンターに送信したプリントデータの設定解像度が直前に印刷されたデータの解像度と異なる場合、プリンターの設定を最適化するために時間がかかる場合があります。そのまましばらくお待ちください。
画像が途中で切れたり、余分なページが印刷される	アプリケーションで設定した用紙サイズより小さい用紙に印刷している可能性があります。アプリケーションで設定したサイズと同じサイズの用紙をセットしてください。同じサイズの用紙をセットできないときは、変倍の機能を使って縮小して印刷することができます。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ

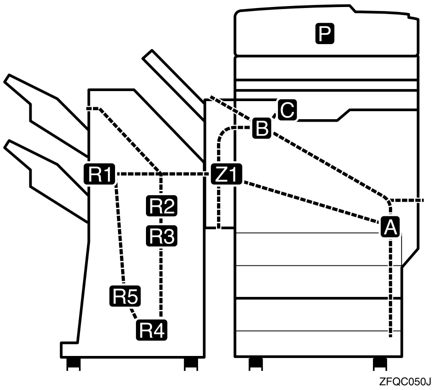
状態	原因・対処方法・参照先
解像度を1200dpiに切り替えても、1200dpiで印刷されない	1200dpiでの印刷はデータ量が多くなるため、メモリー容量によっては1200dpiで印刷できないことがあります。SDRAMモジュールを増設するか、印刷するデータのサイズを小さくしてください。 ⇒使用説明書＜システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「付録」（メモリー容量と用紙サイズ）
印刷に時間がかかる	写真やグラフを多用したデータなど、データの種類によってはパソコンの処理に時間がかかる場合があります。そのままお待ちください。また、プリンタードライバーで次の設定をすると、パソコンの負担が軽減することがあります。 • プリンタードライバーの［印刷品質］タブの［画質と速度のバランス］を「速度優先」にする。 • プリンタードライバーの［印刷品質－ユーザー設定］ダイアログの［画質調整］タブで、［解像度］を「1200×600dpi」または「600×600dpi」にする。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
	データ量が多いために処理に時間がかかっている場合があります。データインランプが点滅していれば、プリンターにデータは届いています。そのままお待ちください。
	プリンターの電源を入れた直後は、ウォームアップのために2分間印刷が開始されません。
画面に表示されている色と印刷された色が違う	カラートナーを混合して得られる色調は、画面の色調とは発色が違います。 ⇒使用説明書＜プリンタークライアント編2スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「付録」
	プリンタードライバーの［印刷品質］タブで［トナーセーブ］をチェックしていると、色味が変わることがあります。設定を確認してください。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
指定した色で印刷されない	特定の色だけ抜けて印刷されるときは、主電源スイッチを入れ直してからもう一度印刷してください。それでも同じ現象が発生する場合は、サービス実施店に連絡してください。 **参照** 主電源を切る前に、使用説明書＜システム設定編1スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「本機を使用するための準備」（電源の入れかた、切りかた）を参照してください。
	プリンタードライバーの［印刷品質－ユーザー設定］ダイアログの［その他］タブの［CMYKに色分解して、指定した色のみで印刷する］で、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックをすべてチェックしてください。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
プリンタードライバーでカラー調整をすると、極端に色が変化する	プリンタードライバーの［印刷品質－ユーザー設定］ダイアログの［画質調整］タブでカラー調整をするときは、値を大きく変更しないでください。また、プリンタードライバーに表示されるサンプルはどんな処理をするかを示すためのものなので、印刷結果とは必ずしも一致しません。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ

状態	原因・対処方法・参照先
写真が粗く印刷される	アプリケーションによっては、解像度を落として印刷するものがあります。
	プリンタードライバーの［印刷品質］タブの［画質と速度のバランス］を「画質優先」にしてください。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
カラーの原稿が白黒で印刷される	プリンタードライバーでカラー印刷が設定されていません。 • 機能別ウィンドウの場合：［基本］タブ • ワンクリック設定の場合：［印刷機能］タブ それぞれのタブにある［カラー／白黒］を、「カラー」に設定してください。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
	アプリケーションによってはカラーの文書が白黒で印刷されるなど、正しくカラー印刷できないことがあります。
細かい網点が印刷されない	プリンタードライバーの［印刷品質－ユーザー設定］ダイアログの［画質調整］タブで［ディザリング設定］を変更してください。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
黒ベタの部分でC（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）が重なってギラギラする	プリンタードライバーの［印刷品質－ユーザー設定］ダイアログの［画質調整］タブで［グレー印刷方式］を「黒１色」に設定してください。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
グラデーションの途中で黒の部分の発色が不自然になる	プリンタードライバーの［印刷品質－ユーザー設定］ダイアログの［画質調整］タブで［グレー印刷方式］を「CMYK4色」に設定してください。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
実線が破線で印刷される	プリンタードライバーの［印刷品質－ユーザー設定］ダイアログの［画質調整］タブで［ディザリング設定］を変更してください。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
カラー原稿で色ずれが発生する	**【初期設定／カウンター】**キーを押します。［調整/管理］から［色ずれ補正］を実行します。 ⇒ P.7 「清掃・調整する」

それでも思いどおりに印刷できないときは、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の連絡先については本機を購入した販売店にお問い合わせください。

つまった用紙を取り除く

本機に用紙がつまったときは、操作画面に「原稿ミスフィード」や「用紙ミスフィード」というメッセージと、つまっている場所が表示されます。



紙づまりの位置を確認し、用紙を取り除いてください。なお、本機にはオートリカバリー機能があり、つまった用紙は「プリンター本体排紙部」か「プリンター本体右下カバー」のどちらかに送られます。ほとんどの場合、「プリンター本体排紙部」か「プリンター本体右下カバー」のどちらかからつまった用紙を取り除くことになります。

重要

- ❒ 用紙を取り除くときは電源を切らないでください。電源を切ると設定した機能や数値が取り消されます。
- ❒ 用紙は破れないように確実に取り除いてください。本機内部に紙片が残ると、再び用紙がつまったり、故障の原因になります。
- ❒ 続けて何度も用紙がつまるときは、サービス実施店に連絡してください。

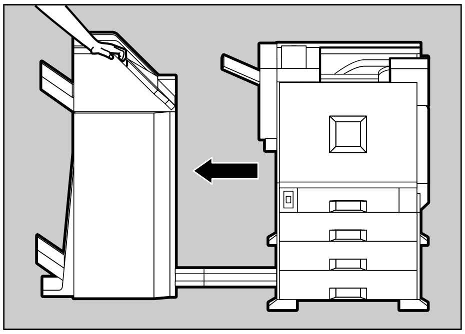
補足

- ❒ 紙づまりの個所が同時に複数表示されることがあります。このときは、表示されたすべての場所を確認してください。
- ❒ 本体の前カバーの裏側のほか、フィニッシャーの前カバーの裏側などにも用紙がつまったときの取り除きかたを説明したシールがはってあります。

2000枚フィニッシャーを脱着する

各種ユニットを交換するときや、つまった用紙を取り除くときに、2000枚フィニッシャーを一時的にプリンター本体から分離させることがあります。2000枚フィニッシャーを脱着するには、次のようにします。

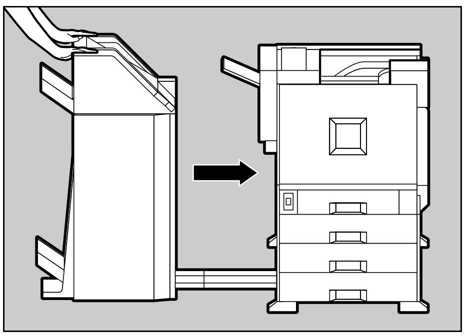
1 上部にある取っ手を片手でしっかり持ってゆっくりとまっすぐに引き、動かなくなるまでに引き出します。



ZDJP201J

これで、2000枚フィニッシャーをプリンター本体から分離することができました。

2 両手でゆっくりとまっすぐに押し、カチッと音がするまで押し込みます。



ZDJP202J

これで、2000枚フィニッシャーがプリンター本体に取り付けられました。

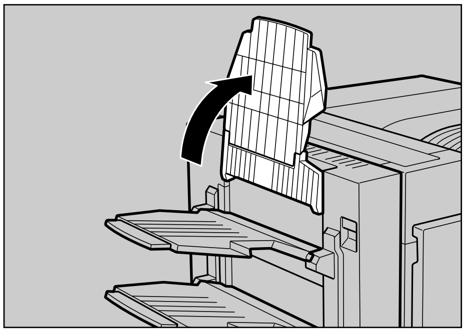
重要

- ❒ 2000枚フィニッシャーは、両面反転ユニットを閉じてから、プリンター本体に取り付けてください。

サイド排紙トレイを脱着する

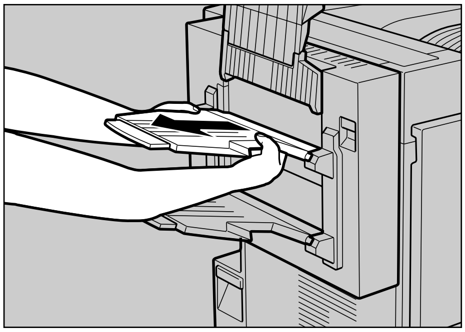
各種ユニットを交換するときや、つまった用紙を取り除くときに、両面反転ユニットを開くことがあります。オプションのサイド排紙トレイを取り付けている場合は、両面反転ユニットを開ける前に、トレイを取り外してください。また、両面ユニットを閉じた後に、トレイを取り付けてください。

1 両面反転ユニットの排紙トレイを起こします。



ZFQP010J

2 サイド排紙の上トレイを斜め上に引き抜いて取り外します。

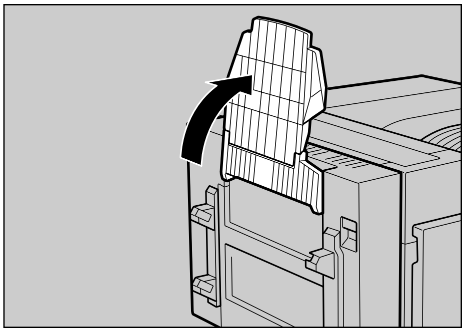


ZFQP020J

3 サイド排紙の下トレイを、手順2と同じように斜め上に引き抜いて取り外します。

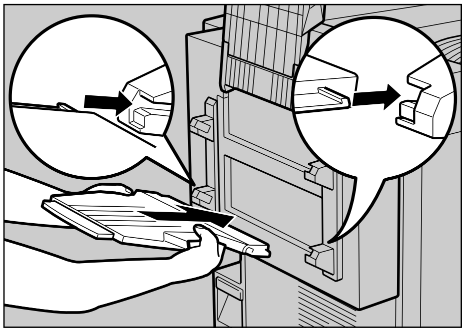
これで、トレイを両面ユニットから取り外すことができました。

4 両面反転ユニットの排紙トレイを起こします。



ZFQP010J

5 サイド排紙トレイの下トレイの両端を、取り付け部のガイドに合わせて、奥まで差し込みます。



ZFQP040J

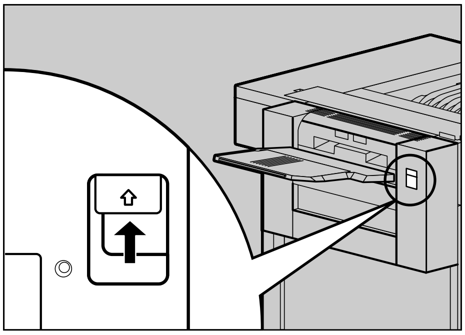
6 サイド排紙トレイの上トレイの両端を、手順 5 と同じように取り付け部のガイドに合わせて、奥まで差し込みます。

これで、トレイを両面ユニットに取り付けることができました。

両面反転ユニットを開閉する

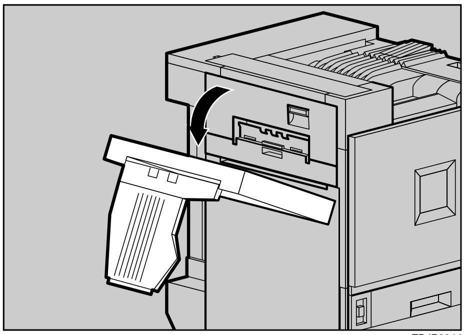
各種ユニットを交換するときや、つまった用紙を取り除くときに、両面反転ユニットを開くことがあります。両面反転ユニットの開閉するには、次のようにします。

1 両面反転ユニットのロック解除ボタンを押し上げ、そのまま押さえます。



ZDJP203J

2 両面反転ユニットを、止まるまでゆっくりと倒します。



ZDJP204J

重要

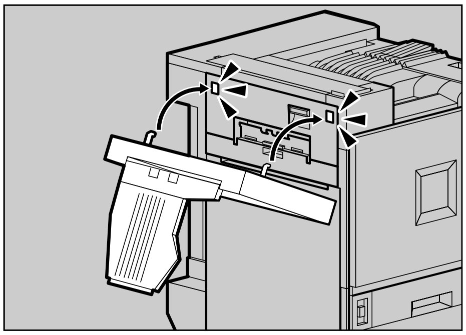
❒ 両面反転ユニットは、2000枚フィニッシャーをプリンター本体から分離してから開いてください。

補足

❒ 2000 枚フィニッシャーが取り付けられている場合でも、両面反転ユニットの排紙トレイを取り外す必要はありません。

これで、両面反転ユニットが開きました。

3 両面反転ユニットを両手でゆっくりと起こし、カチッと音がするまで押し込みます。



ZDJP205J

これで、両面反転ユニットが閉じました。

重要

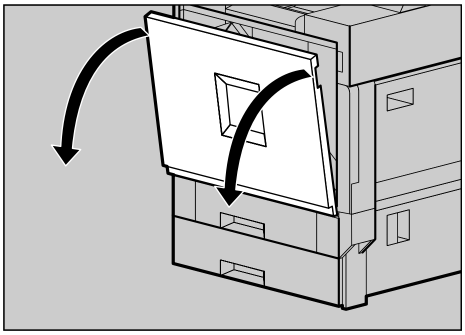
❒ 両面反転ユニットは、プリンター本体の左上カバーを閉めてからセットしてください。

5

両面搬送ユニットに用紙がつまったとき

1 **本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

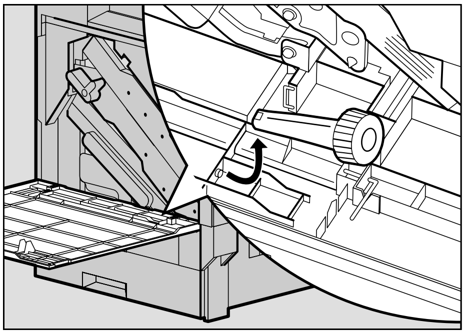
2 **プリンター本体の前カバーの左右2個所を引いて、ゆっくりと開けます。**



ZDJH007J

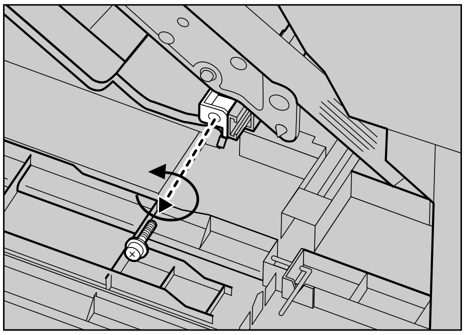
3 **緑色の専用ねじ回しを取り出します。**

この専用ねじ回しで、すべてのねじの取り付け、取り外しを行います。ねじを専用ねじ回しに押し込んで使用します。



ZDJH013J

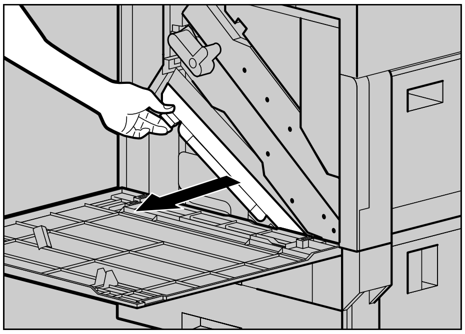
4 **専用ねじ回しを使って、両面搬送ユニットを固定しているねじを1本外します。**



ZDJP221J

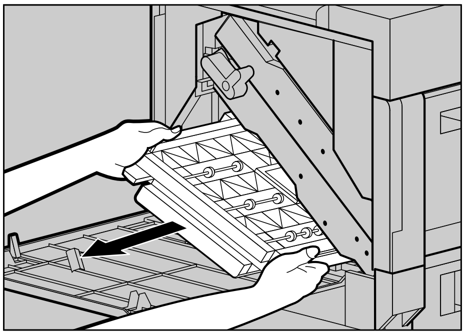
このねじは、最後に両面搬送ユニットを固定するときに使います。

5 **両面搬送ユニットの左上にあるつまみをつかんで、半分までゆっくりと引き出します。**



ZDJP213J

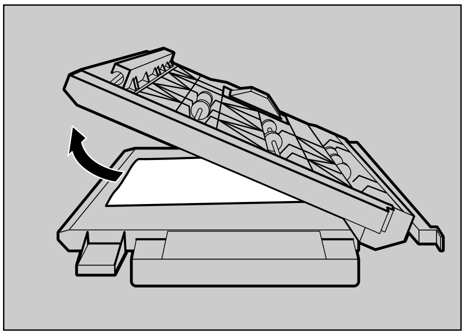
6 **両面搬送ユニットを両手でしっかり持って、まっすぐに引き抜きます。**



ZDJP214J

5

7 両面搬送ユニットを床に静かに置きます。ゆっくりと開き、つまった用紙を取り除きます。



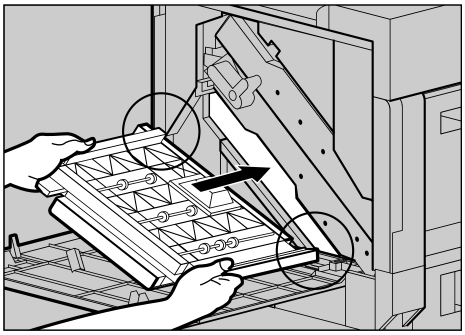
ZDJP215J

重要

- ❒ 両面搬送ユニットを開くときは力を入れすぎないでください。破損する原因になります。

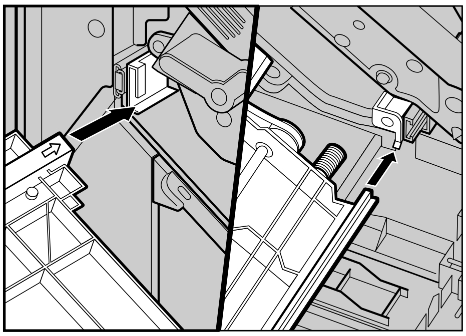
8 両面搬送ユニットを閉じます。

9 両面搬送ユニットを両手で持ち、レールに合わせてゆっくりと奥まで差し込みます。



ZDJP056J

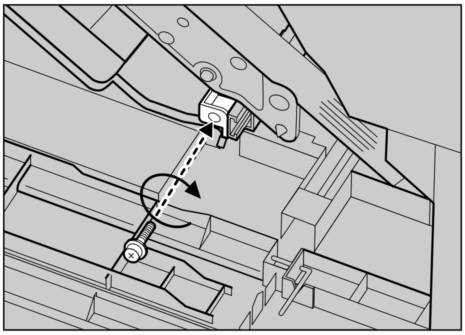
上下のレールは図の矢印の先の位置にあります。



ZDJP133J

両面搬送ユニットの左右2個所に矢印がついています。

10 専用ねじ回しを使って、手順4で外したねじで、両面搬送ユニットを固定します。

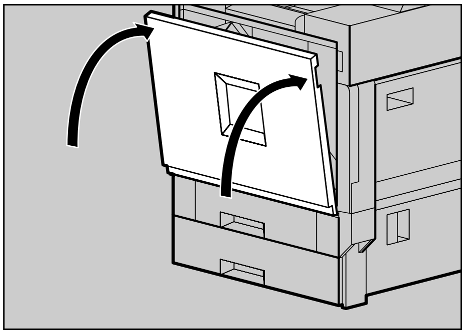


ZDJP057J

補足

- ❒ 使用後の専用ねじ回しは、プリンター本体の前カバーに保管しておいてください。

11 プリンター本体の前カバーの左右 2 箇所を押してゆっくりと閉めます。



ZDJH041J

12 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

用紙ミスフィード：Aが表示されているとき

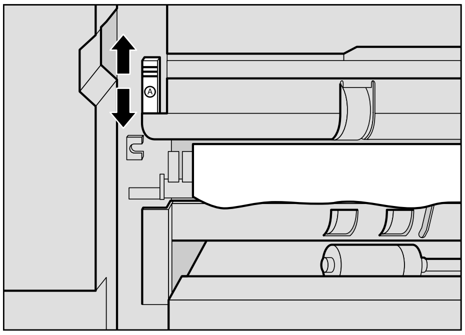
Aが表示されているときは、プリンター本体内部に用紙がつまっています。

1 **プリンター本体の右下カバーを開けます。**



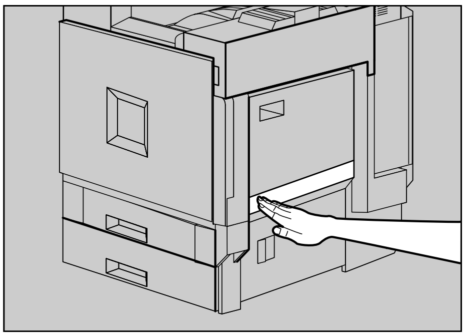
ZDJH206J

2 **青色のレバー(A)を上下に動かしてつまった用紙を送り、つまんでゆっくりと引き抜きます。**



ZDJY205J

3 **プリンター本体の右下カバーに貼られている「PUSH」の部分を押して、右下カバーを閉めます。**



ZDJP708J

用紙ミスフィード：Bが表示されているとき

Bが表示されているときは、定着ユニットがあるところに用紙がつまっています。つまった用紙は、次のように取り除きます。

⚠注意



- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

1 **2000枚フィニッシャーを取り付けているときは、プリンター本体からフィニッシャーを分離します。**

参照

2000枚フィニッシャーを分離する方法については、P.66 「2000枚フィニッシャーを脱着する」を参照してください。

2 **両面印刷ユニットを取り付けているときは、両面反転ユニットを開きます。**

補足

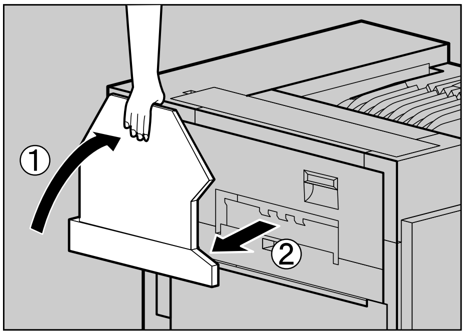
- ❒ 両面反転ユニットにサイド排紙トレイを取り付けているときは、両面反転ユニットを開く前に、サイド排紙トレイを取り外してください。
- ❒ サイド排紙トレイを取り外す方法については、P.67 「サイド排紙トレイを脱着する」を参照してください。

参照

両面反転ユニットを開く方法については、P.68「両面反転ユニットを開閉する」を参照してください。

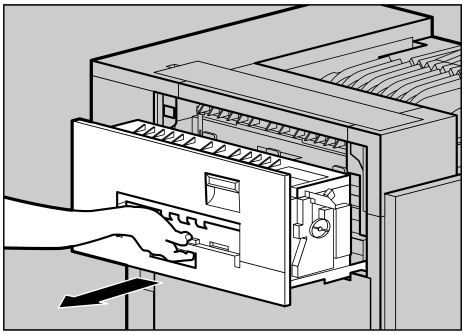
5

3 **プリンター本体に排紙トレイが取り付けられているときは、矢印の方向に引き上げて（①）、取り外します（②）。**



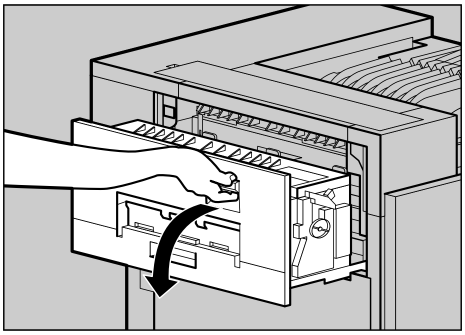
ZDJP038J

4 **プリンター本体の左上カバー下部の取っ手を持ち、ゆっくりと引き出します。**



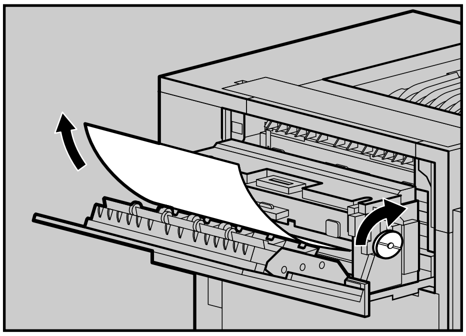
ZDJH047J

5 **プリンター本体の左上カバー上部の取っ手を持ち、ゆっくりと開けます。**



ZDJH048J

6 **青色のダイヤルを図の矢印の方向に回してつまった用紙を送り、ゆっくりと引き抜きます。**

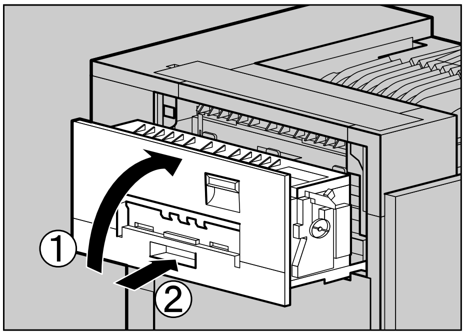


ZDJY206J

重要

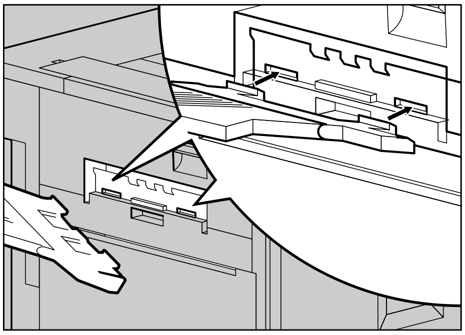
- ❒ 青色のダイヤルは必ず図の矢印の方向に回してください。逆に回すと機械内部に用紙が入り込んでしまい、取り除くことがむずかしくなります。
- ❒ つまっている用紙は絶対に引っ張らないでください。必ず青色のダイヤルを回して用紙を送ってから、取り除いてください。

7 **プリンター本体の左上カバーを閉め（①）、下部の取っ手を持ってカチッと音がするまで静かに押し込みます（②）。**



ZDJH051J

8 手順3で排紙トレイを外した場合は、プリンター本体に取り付けます。排紙トレイのフックを本体のスリットに差し込み、ゆっくり倒します。



ZDJH010J

9 両面印刷ユニットを取り付けているときは、両面反転ユニットを閉じます。

参照

両面反転ユニットを閉じる方法については、P.68「両面反転ユニットを開閉する」を参照してください。

補足

- ❒ 両面反転ユニットにサイド排紙トレイを取り付けているときは、両面反転ユニットを閉じた後に、サイド排紙トレイを取り付けてください。
- ❒ サイド排紙トレイを取り付ける方法については、P.67「サイド排紙トレイを脱着する」を参照してください。

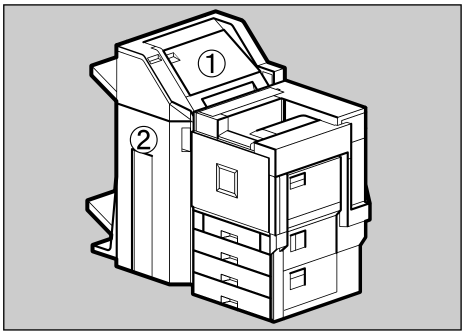
10 2000枚フィニッシャーを取り付けているときは、プリンター本体にフィニッシャーを再度取り付けます。

参照

2000枚フィニッシャーを取り付ける方法については、P.66「2000枚フィニッシャーを脱着する」を参照してください。

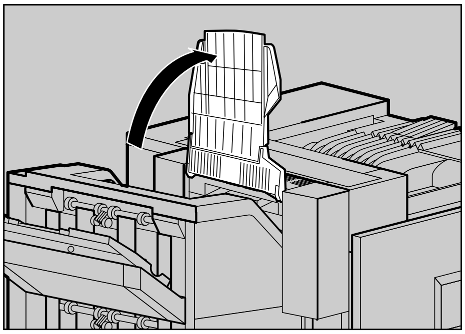
用紙ミスフィード：Rが表示されているとき

Rが表示されているときは、2000枚フィニッシャーの内部に用紙がつまっているので、上カバー（①）と前カバー（②）を開け、つまった用紙を取り除きます。



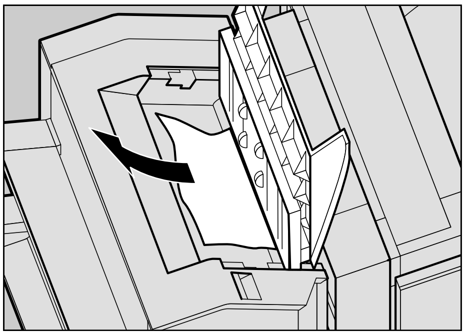
ZDJP206J

1 プリンター本体の排紙トレイを起こします。



ZDJP207J

2 2000枚フィニッシャーの上カバーを開け、つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



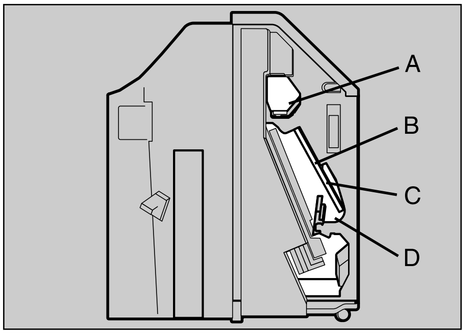
ZDJY208J

3 上カバーをゆっくりと閉めます。

5

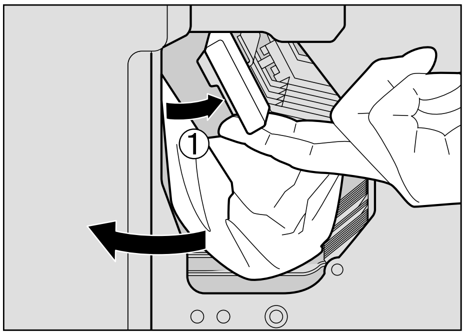
4 2000 枚フィニッシャーの前カバーを開けます。

図のA、B、C、Dのそれぞれに、つまった用紙がないか確認します。



ZDJP209J

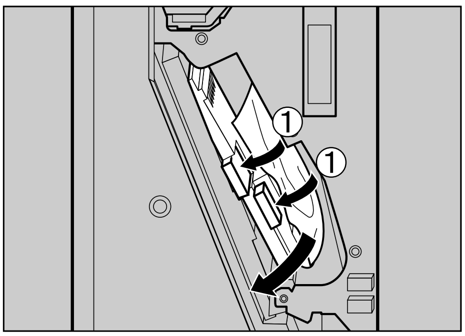
5 手順4のAを確認し、つまった用紙があったら取り除きます。レバーを引き上げ（①）、下りないように手で押さえながら、つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



ZDJP210J

6 レバーをゆっくりと下ろし、元の位置に戻します。

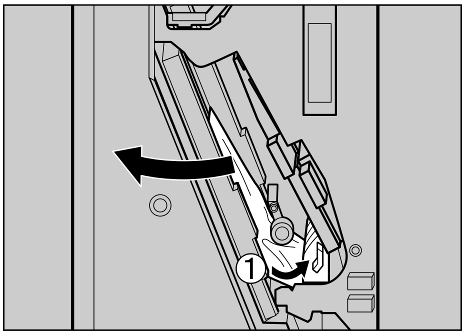
7 手順4のB、Cを確認し、つまった用紙があったら取り除きます。レバーを矢印の方向に下ろし（①）、つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



ZDJP211J

8 レバーをゆっくりと引き上げ、元の位置に戻します。

9 手順4のDを確認し、つまった用紙があったら取り除きます。レバーを矢印の方向に引き上げ（①）、つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



ZDJP212J

10 レバーをゆっくりと下ろし、元の位置に戻します。

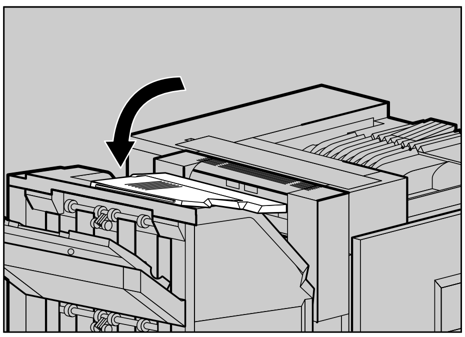
11 2000枚フィニッシャーの前カバーを閉めます。

つまった用紙を取り除いてもエラーメッセージが消えないときは、2000 枚フィニッシャーをプリンター本体から分離して、つまった用紙があるか確認してください。

参照

2000枚フィニッシャーをプリンター本体から分離し、再度取り付ける方法については、P.66「2000枚フィニッシャーを脱着する」を参照してください。

12 プリンター本体の排紙トレイを元の位置までゆっくりと倒します。

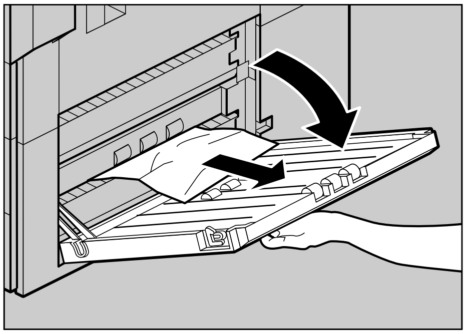


ZDJP086J

用紙ミスフィード：Yが表示されているとき

Yが表示されているときは、給紙テーブル（オプション）に用紙がつまっています。

1 給紙テーブル（オプション）の右カバーを開け、つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



ZDJY209J

2 給紙テーブル（オプション）の右カバーを閉めます。

用紙ミスフィード：Z1が表示されているとき

Z1が表示されているときは、両面反転ユニットの内部に用紙がつまっています。

⚠注意



- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

1 2000枚フィニッシャーを取り付けているときは、プリンター本体からフィニッシャーを分離します。

参照

2000枚フィニッシャーを分離する方法については、P.66「2000枚フィニッシャーを脱着する」を参照してください。

2 両面印刷ユニットを取り付けているときは、両面反転ユニットを開きます。

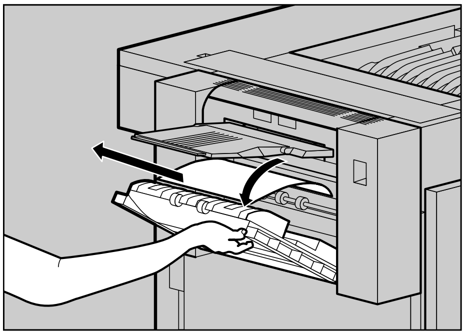
補足

- ❒ 両面反転ユニットにサイド排紙トレイを取り付けているときは、両面反転ユニットを開く前に、サイド排紙トレイを取り外してください。
- ❒ サイド排紙トレイを取り外す方法については、P.67「サイド排紙トレイを脱着する」を参照してください。

参照

両面反転ユニットを開く方法については、P.68「両面反転ユニットを開閉する」を参照してください。

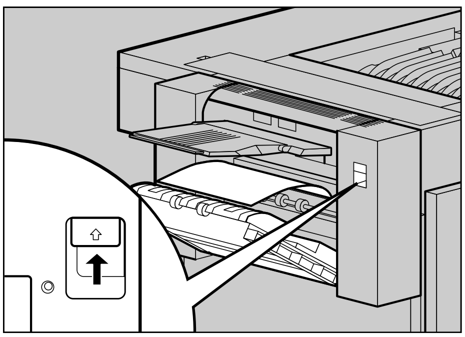
3 両面反転ユニットの左カバーを開け、つまった用紙を取り除きます。このとき、無理に用紙を引っ張らないでください。



ZDJY210J

用紙を取り除けないときは、手順4に進みます。

4 両面反転ユニットのロック解除ボタンを押し上げ、そのまま押さえます。

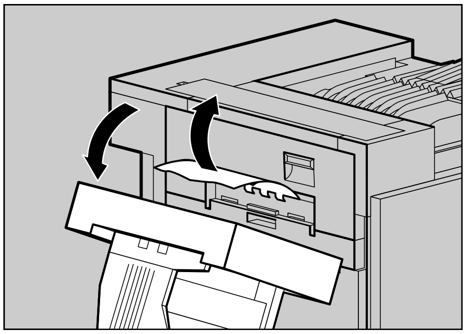


ZDJY211J

5

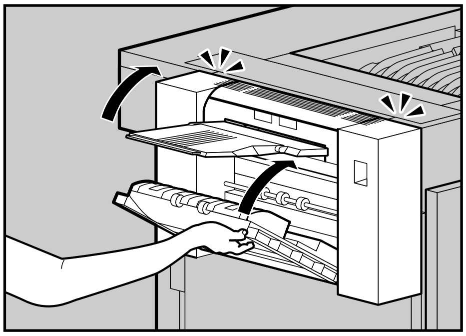
5

5 両面反転ユニットを止まるまでゆっくりと倒し、つまった用紙を取り除きます。



ZDJY212J

6 両面反転ユニットをゆっくりと起こしてカチッと音がするまで押し込みます。左カバーを起こし、「PUSH」シールの部分を押してしっかり閉めます。



ZDJH207J

7 両面印刷ユニットを取り付けているときは、両面反転ユニットを閉じます。

参照

両面反転ユニットを閉じる方法については、P.68「両面反転ユニットを開閉する」を参照してください。

補足

- ❒ 両面反転ユニットにサイド排紙トレイを取り付けているときは、両面反転ユニットを閉じた後に、サイド排紙トレイを取り付けてください。
- ❒ サイド排紙トレイを取り付ける方法については、P.67「サイド排紙トレイを脱着する」を参照してください。

8 2000枚フィニッシャーを取り付けているときは、プリンター本体にフィニッシャーを再度取り付けます。

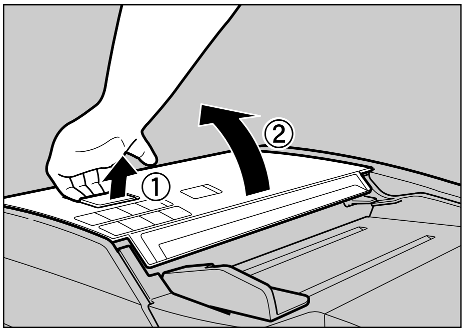
参照

2000枚フィニッシャーを取り付ける方法については、P.66「2000枚フィニッシャーを脱着する」を参照してください。

原稿ミスフィード：Pが表示されているとき

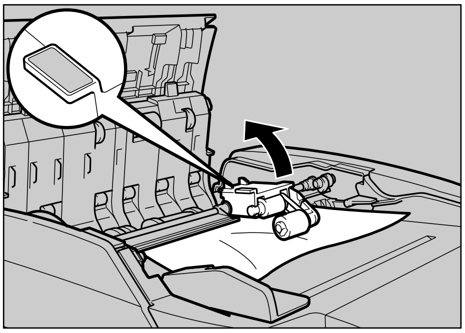
P が表示されているときは、自動原稿送り装置(ADF)の内部に原稿がつまっています。

1 レバーを持ち上げ（①)、上カバーを開けます（②)。



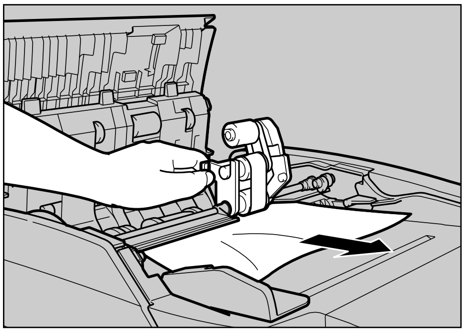
ZFQY010J

2 原稿押さえの青色の部分を指でつまんで、原稿押さえを起こします。



ZFQY020J

3 原稿押さえを持ったまま、つまった原稿をゆっくりと引き抜きます。

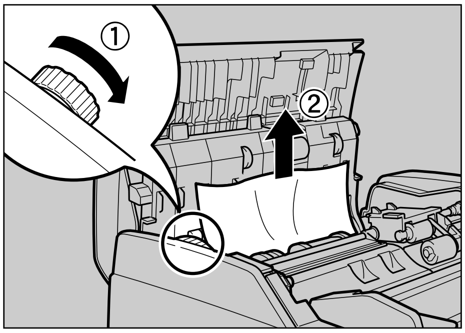


ZFQY030J

4 原稿押さえを倒して、元の位置に戻します。

用紙を取り除けないときは、手順**5**に進みます。

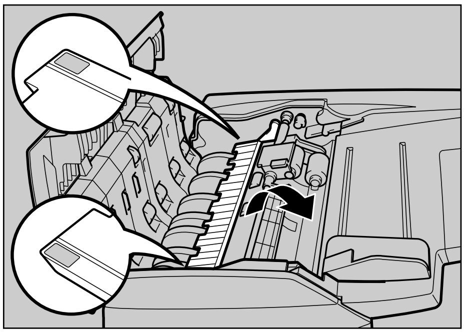
5 ダイヤルを図の矢印の方向に回して(①)、つまった原稿を送り、ゆっくりと引き抜きます（②)。



ZFQY040J

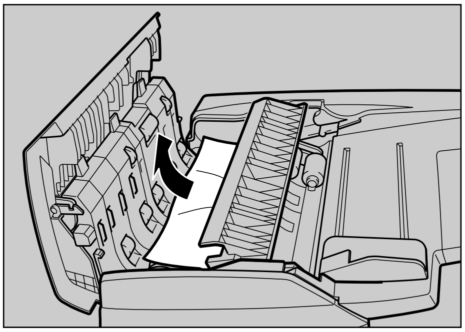
用紙を取り除けないときは、手順**6**に進みます。

6 パネルの青色の部分を指でつまんで、図の矢印の方向にパネルを動かします。



ZFQY050J

7 つまった原稿をゆっくりと引き抜きます。

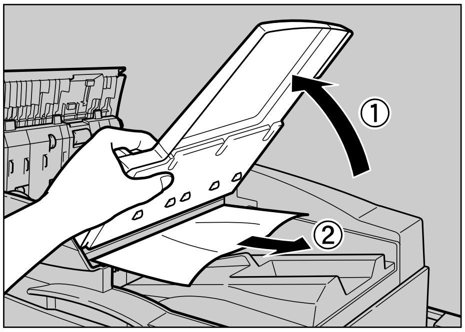


ZFQY060J

8 パネルの青色の部分を指でつまんで、元の位置に戻します。

原稿を取り除けないときは、手順**9**に進みます。

9 原稿送り板を持ち上げてから(①)、つまった用紙をゆっくりと引き抜きます（②)。



ZFQY070J

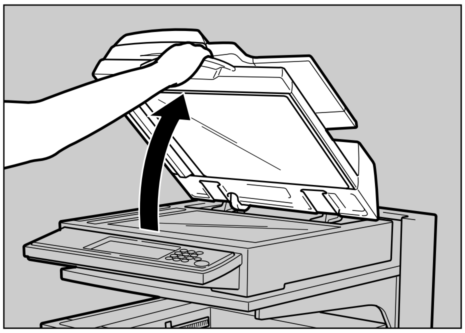
10 原稿送り板を倒して、元の位置に戻します。

11 上カバーを閉じます。

原稿を取り除けないときは、手順に進みます。

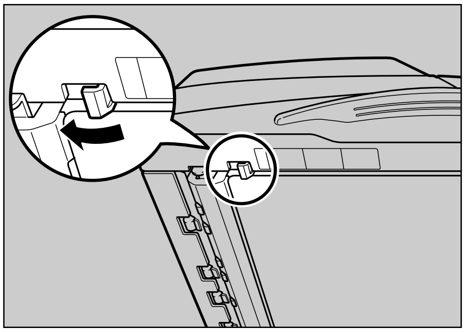
5

12 自動原稿送り装置(ADF)を開けます。



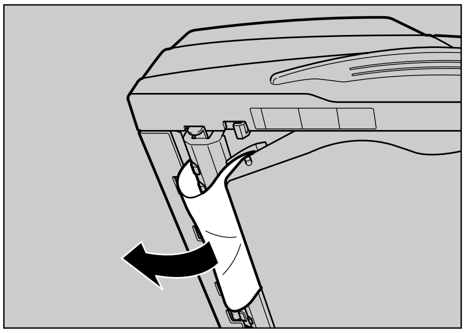
ZFQY080J

13 青色のつまみを左に倒し、白いカバーを緩めます。



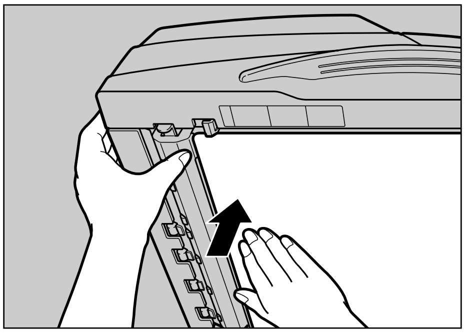
ZFQY090J

14 白いカバーを手前に引き、つまった原稿をゆっくりと引き抜きます。



ZFQY100J

15 白いカバーの左端中央部をカチッという音がするまで押さえて、元に戻します。



ZFQY110J

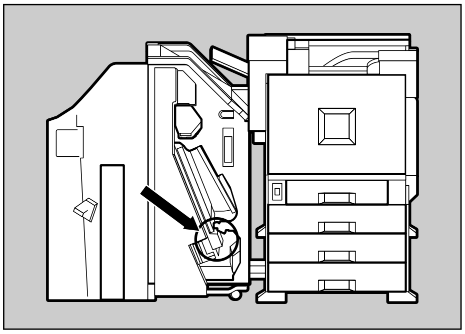
16 自動原稿送り装置(ADF)を閉めます。

ステープラーの針がなくなったとき

操作画面に「ステープルの針がもうすぐなくなります。針を補給してください。」というメッセージが表示されたときは、ステープラーの針を補充してください。

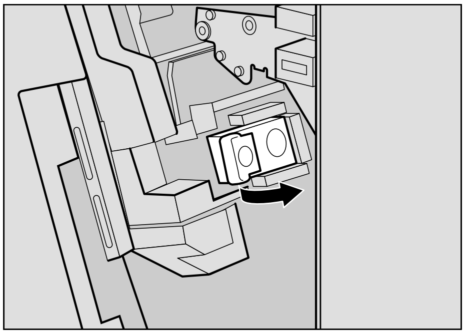
1 **2000枚フィニッシャーの前カバーを開けます。**

ステープラーは図の位置にあります。



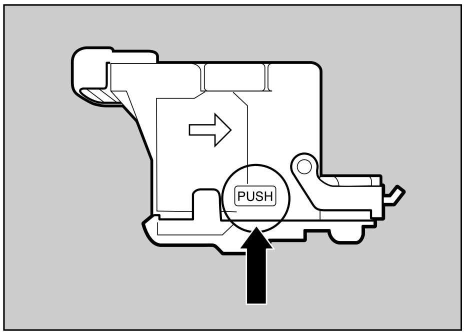
ZDJP216J

2 **カートリッジの緑色のつまみを矢印の方向に引き、取り外します。**



ZDJP217J

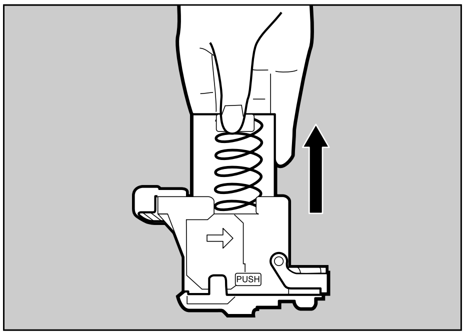
3 **ステープラーの両側にある「PUSH」の部分を押します。**



ZDJP222J

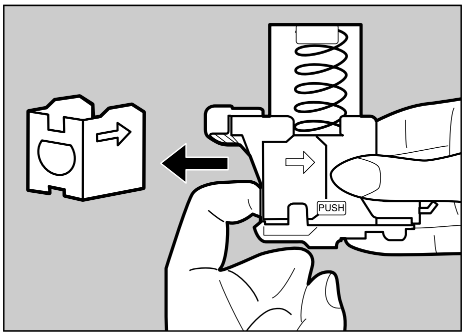
上部の針ケースカバーが少し浮き上がります。

4 **針ケースカバーを引き上げます。**



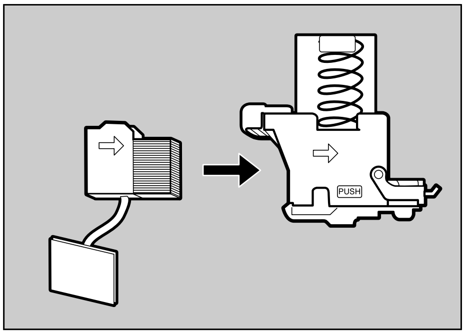
ZDJP223J

5 **空になった針ケースの穴に指を掛けて、空の針ケースを引き抜きます。**



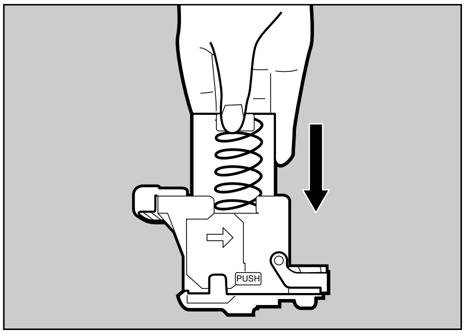
ZDJP224J

6 新しい針ケースの矢印と針ケースカバーの矢印が一致するまで押し込みます。



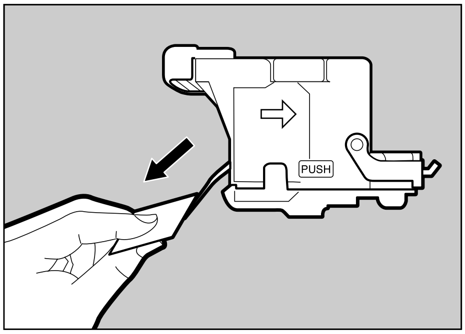
ZDJP225J

7 針ケースカバーをカチッと音がするまで押し込みます。



ZDJP230J

8 針ケース下部のリボンをすべて引き出し、取り除きます。

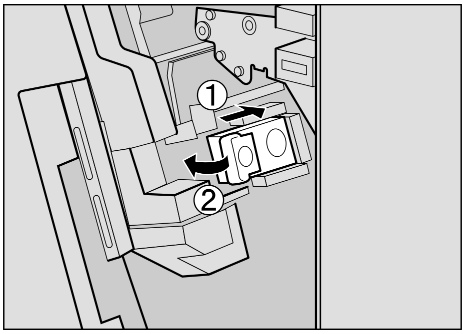


ZDJP226J

補足

❒ リボンは針ケースをひと巻きしています。最後まで抜き取ってください。

9 カートリッジを斜めに差し込み（①）、カチッと音がするまで押し込みます（②）。



ZDJP218J

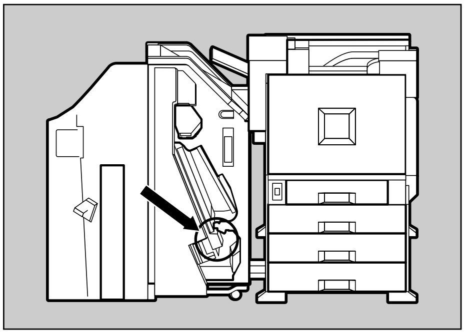
10 2000枚フィニッシャーの前カバーを閉めます。

ステープラーの針がつまったとき

ステープラーの針があるのに操作画面に、「ステープルの針がもうすぐなくなります。針を補給してください。」のメッセージが表示されたとき、または指示をしたのにステープルされないときはステープラーの針がつまっている可能性があります。

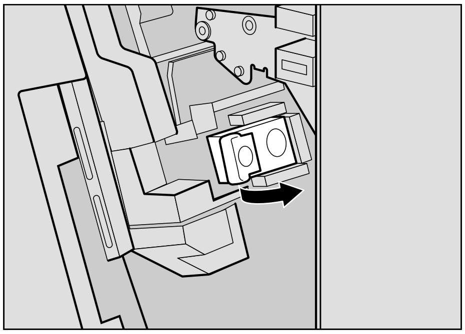
1 **2000枚フィニッシャーの前カバーを開けます。**

ステープラーは図の位置にあります。



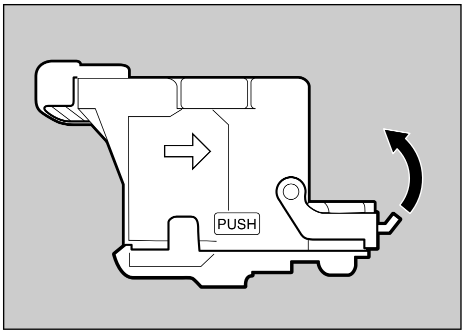
ZDJP216J

2 **カートリッジの緑色のつまみを矢印の方向に引き、取り外します。**



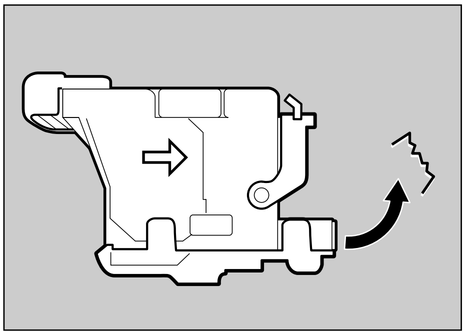
ZDJP217J

3 **ロックを外します。**



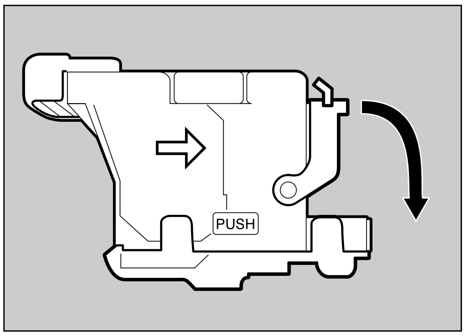
ZDJP227J

4 **つまっている針を取り除きます。**



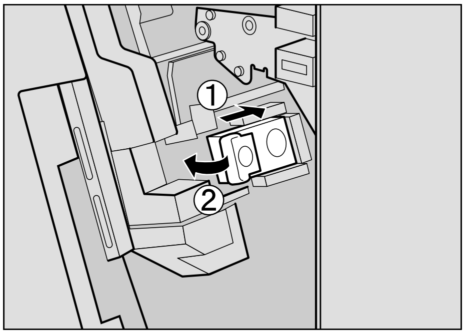
ZDJP228J

5 **カチッと音がするまでロックを下げます。**



ZDJP229J

6 **カートリッジを斜めに差し込み（①）、カチッと音がするまで押し込みます（②）。**



ZDJP218J

7 2000**枚フィニッシャーの前カバーを閉めます。**

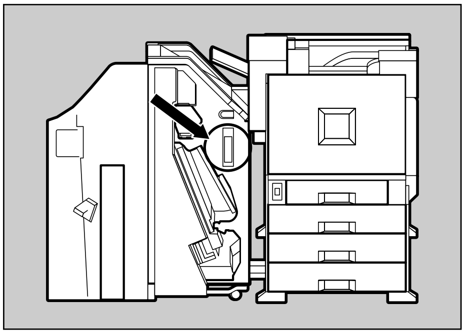
5

パンチくずがいっぱいになったとき

操作画面に「パンチくずが満杯になりました。」というメッセージが表示されたときは、パンチくずを廃棄してください。

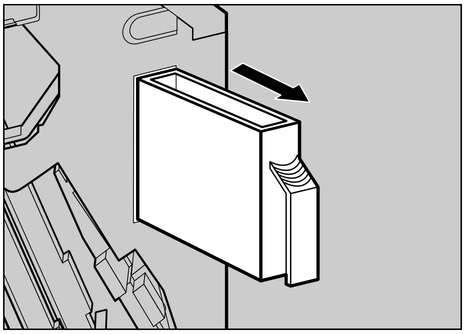
1 **2000枚フィニッシャーの前カバーを開けます。**

パンチくず箱は図の位置にあります。



ZDJP219J

2 **パンチくず箱をゆっくりと引き抜き、パンチくずを廃棄します。**



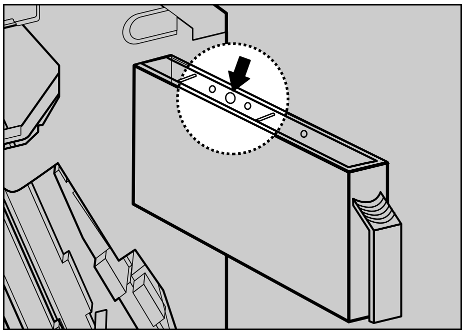
ZDJP220J

3 **パンチくず箱を元の位置に取り付けます。**

4 **2000枚フィニッシャーの前カバーを閉めます。**

パンチくずを廃棄してもメッセージが表示される場合

パンチくずが満杯になっていないのに、操作画面に「パンチくずが満杯になりました。」というメッセージが表示されることがあります。この場合には、パンチくず箱の図の矢印の位置にある穴のまわりにパンチくずが付着していることが予想されます。穴のまわりに付着してるパンチくずを取り除いてください。



ZBGH030N

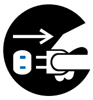
5

6. 付録

保守・運用について

使用上のお願い

⚠注意



- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意

重要

- 電源ランプが点灯、点滅しているときは主電源スイッチを「Off」にしないでください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。
- 画面のメモリー残量が100%であることを確認し、主電源スイッチを切ったうえで、電源プラグを抜いてください。

参照

主電源の切りかたについては、使用説明書＜システム設定編1＞「本機を使うための準 備」(電源の入れかた、切りかた)を参照してください。

- 電源プラグを抜いている間は、ファクスの送受信はできません。

参照

詳細については、使用説明書＜ファクス機能 基本編＞を参照してください。

- 定着ユニットの回りはヒーターの熱で温かいと感じることがありますが、異常ではありません。
- 使用中は換気を良くしてください。本機を換気の悪い部屋で長時間使用すると、臭気が気になることがあります。快適な作業環境を保つために部屋の換気をすることをお勧めいたします。
- 通気口などでは排気により温かいと感じることがありますが、異常ではありません。
- 寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、1時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
- プリンター本体の内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立て掛けたりして排気口や吸気口をふさがないようにしてください。
- 各部のカバーを開けたままにしないでください。けがの原因になります。
- 印刷中に各部のカバーや両面反転ユニットを開けたり、プリンター本体を移動したりしないでください。
- 印刷中は給紙トレイを引き出さないでください。印刷が停止し、用紙がつまります。
- クリップなどの異物がプリンター本体の中に入らないようにしてください。
- 印刷中に電源を切ったり、電源ケーブルを抜かないでください。
- 印刷中にプリンター本体の上で紙をそろえるなど外的ショックを与えないでください。

- プリンター本体の設置場所の温度や湿度の状態によっては、印刷時に用紙から水蒸気が発生し、リンター本体側面の排気口で白い湯気になって見えることがあります。
- 印刷時には、プリンター本体側面の排気口付近が暖かくなりますが、異常ではありません。
- 本機に登録した内容は、必ず控えをとるようにしてください。お客様が操作をミスしたり、本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。
- 本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- トナーなどの消耗品や部品は、リコー指定の製品により安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定の消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。
- 日本国外へ移動された場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機は安定した品質を維持するために、通電中は印刷指示をしていなくても定期的に動作する場合があります。
- 本機は、月間印刷ページ数が25,000ページ以下（A4）、１日の通電時間の合計が8時間程度の条件で、使用年数を5年と想定して設計・製造されています。月間印刷ページ数が25,000ページを超えていたり、１日に合計8時間以上電源が入っていたりすると、想定された年数より使用年数が短くなる場合があります。

保守サービス契約について

本機をお買い上げいただきますと、保守サービス契約としてM-PaC保守契約をさせていただきます。

保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、本製品の製造中止後、7年間です。したがって、本期間以後は、修理をお引き受けできない場合があります。

M-PaC保守契約

- リコーはお客様に対し、本機を安定した状態でご使用いただくため、トナー・消耗品の供給および定期保守サービスを実施します。また、リコーは故障の際にもすばやくおこたえできる体制を整えています。
- リコーは保守サービスの対価として「M-PaC保守料金」を申し受けます。M-PaC保守料金はカウンター数値により算出されます。契約有効期間は5年間で、5年経過後継続してご使用いただく場合は、機械納品時に締結したM-PaC保守契約が自動更新されます。
- 詳しい内容につきましては、販売担当者またはカスタマーエンジニアにおたずねください。

カウンター検針について

本機は、ラインアダプターを接続することで遠隔によるカウンター検針が可能になります。

ご利用につきましては下記内容をご確認ください。

- ラインアダプター接続のために、お客様既設の FAX 回線を借用させていただきます。なお、遠隔検針はフリーダイヤルによる自動通報となりますので通話料金はかかりません。
- ラインアダプター接続のために、AC100Vのコンセントを借用させていただきます。ラインアダプターの電源は常に「On」にしておいてください。
- フロアー内移動の場合は、ラインアダプターのコードを抜いてから移動してください。ラインアダプターは本機に接続できる位置に移動し、接続されていた端子にコードを正しく接続し、ラインアダプターの電源プラグをコンセントに接続してください。
- 本機を移設するときは販売店またはサービス実施店に連絡してください。

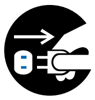
移動

⚠注意



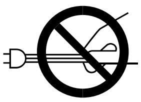
- 機械は約83kgあります。
- 機械を移動するときは、4人以上で行ってください。両側面にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

⚠注意



- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 本機は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。日本国外に移動するときは、保守サービスの責任は負いかねます。また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規則に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- サービス実施店にご連絡いただくと、安全に輸送できるようにプリンターの措置をします。ただし、梱包と輸送についてはお客様で行ってください。

近くに移動するとき

本機を移動したいときは、販売店またはサービス実施店に相談してください。

輸送するとき

本機を輸送したいときは、販売店またはサービス実施店に相談してください。

移動後の設置条件

超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器に水道水や井戸水をご使用になると、水の中の不純物が白い粉となり、複写機の内部に付着して印刷紙やコピーの汚れの原因になります。特に長時間連続して加湿器をお使いになる場合は、加湿器用純水器のご使用をお勧めします。

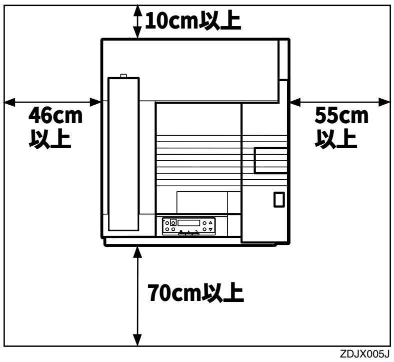
設置環境を確認する

⚠注意

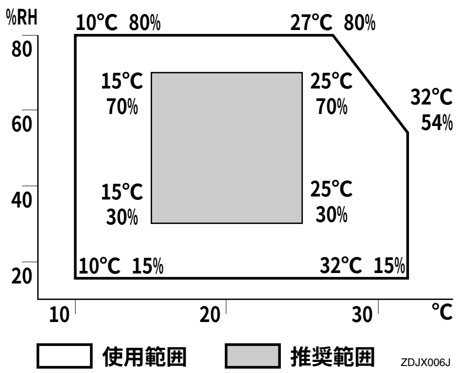
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

設置環境については、次のことを守ってください。

- 本機は、水平でがたつきのない場所を選んで設置してください。
- 用紙の補給、消耗品の交換、紙づまりの処置などをスムーズに行うために、本機の周辺に目安として図のようなスペースを確保してください。



- 温度や湿度が以下の使用範囲におさまる場所に設置してご使用ください。



- 設置する台の水平度：前後左右5mm以下
- 故障の原因になりますので、次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光の当たる所
  - エアコンや暖房機などの温風・ふくしゃ熱が直接当たる所
  - 通気性、換気の悪い所。また、ほこりの多い所
  - ラジオ、テレビ、その他のエレクトロニクス機器に近い所
  - 加湿器に近い所

電源・アースを確認する

⚠警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠警告

- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。

⚠注意

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

本機の電源については、次のことを守ってください。

- 100V、12A以上、50/60Hzの電源をご使用ください。
- 本機のアース端子は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。
  - コンセントのアース端子
  - 接地工事（D種）を行っているアース線

廃棄

本機を廃棄したいときは、販売店またはサービス実施店に相談してください。

消耗品一覧

トナーカートリッジ

商品名	印刷可能ページ数 [*1]
IPSiOトナーブラック タイプ8000M	約20,000ページ
IPSiOトナーシアン タイプ8000M	約10,000ページ
IPSiOトナーマゼンタ タイプ8000M	約10,000ページ
IPSiOトナーイエロー タイプ8000M	約10,000ページ

[*1] A4▯5%**チャート連続印刷をした場合の目安です。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。**

ご購入時に本機に同梱されているトナーカートリッジは、プリンター導入用のもので、大量の印刷はできません。

6

ステープル針

商品名	針数
リコー PPCステープラー針 タイプK	5,000針×3

用紙

種類	商品名	サイズ	販売単位
普通紙	リコピー PPC用紙 タイプ6200	A3	1ケース（250枚×5パック）
		A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガル	1ケース（250枚×10パック）
	リコピー PPC用紙 タイプ6000<70W>	A3	1ケース（250枚×5パック）
		A4、B4、B5	1ケース（500枚×5パック）
再生紙	リサイクルペーパー 紙源PPC用 タイプS	A3	1ケース（500枚×3パック）
		A4、B4、B5	1ケース（500枚×5パック）
カラー紙	リコピー PPC用紙 タイプCP（ピンク） タイプCB（ブルー） タイプCY（イエロー） タイプCG（グリーン）	A3	1ケース（250枚×5パック）
		A4、B4、B5	1ケース（250枚×10パック）
ハクリ紙	リコピー PPC用紙 タイプSA	A4、B4	1パック（100枚入り）
第二原図用紙	リコピー PPC用紙 タイプTA	A3	1ケース（200枚×5パック）
		A4、B4、B5	1ケース（200枚×10パック）
OHPフィルム	リコー OHPフィルム タイプPPC-FC	A4	1パック（100枚入り）

補足

❒ リコピー PPC用紙 タイプTAはモノクロ印刷時のみ使用可能です。

索引

アルファベット索引

2000枚フィニッシャーの脱着 **66**

M-PaC保守契約 **86**

OHPフィルム **44**

あ行

厚紙 **43**

移動 **87**

色ずれ補正
- 色ずれ自動補正 **13**
- 色ずれ手動補正 **14**
- 定着ユニット調整 **15**
- 補正シートの確認 **17**

印刷位置の調整 **24**

印刷がはじまらないとき **59**

印刷濃度の調整 **22**

印刷保証範囲 **45**

思いどおりに印刷できないとき **61**

か行

階調補正 **18**
- 自動階調補正の実行 **18**
- 階調補正シートの確認 **20**

画像欠け範囲 **30**

原稿 **27**

原稿カバーの清掃 **12**
- 原稿カバーの清掃 **12**
- 自動原稿送り装置(ADF)の清掃 **12**

原稿ガラスの清掃 **11**

こんなときには **47**

さ行

サイズが読み取りにくい原稿 **29**

サイド排紙トレイの脱着 **67**

自動原稿送り装置(ADF)にセットできない原稿 **27**

自動的に読み取れる原稿サイズ **28**

消耗品一覧 **90**
- ステープル針 **90**
- トナーカートリッジ **90**
- 用紙 **91**

消耗品を交換する **3**

ステープラーの針がつまったとき **81**

ステープラーの針がなくなったとき **79**

清掃・調整 **7**

セットできる原稿のサイズと紙厚 **27**

た行

つまった用紙を取り除く **66**

トナーの補給 **3**

は行

廃棄 **89**

はがき **44**

パンチくずがいっぱいになったとき **83**

普通紙 **43**

付録 **85**

防じんガラスの清掃 **10**

保守・運用 **85**

ま行

メッセージが表示されたとき **47**

や行

用紙 **31**
用紙に関する注意 **43**
　　用紙の種類ごとの注意 **43**
　　用紙をセットするとき **43**
　　用紙を保管するとき **43**
用紙の種類とサイズ **31**
用紙をセットする **33**
　　給紙テーブル（オプション）**33**
　　給紙トレイ（標準）**33**
　　自動検知されないサイズの用紙 **36**
　　手差しトレイ（標準）**38**
　　用紙の種類 **37**

ら行

両面搬送ユニットに用紙がつまったとき **69**
両面反転ユニットの開閉 **68**
レジストローラーの清掃 **8**

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウエア、ソフトウエア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5 リコービル 〒107-8544
（03）3479-3111（代表）

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文や修理、製品の操作方法に関するお問い合わせはお買い上げの販売店または最寄のサービス実施店にご相談ください。修理については、修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

操作方法に関するお問い合わせは、
「リコープリンターコールセンター、IPSiO（イウシオ）ダイヤル」にご連絡ください。

FreeDial 0120-56-1240（コールはイプシオ）

- 受付時間：9〜12時、13〜17時（土、日、祝祭日、リコーの休業日を除く）

最新プリンタードライバー情報

最新版のプリンタードライバーをインターネットのリコーホームページまたは@niftyのリコーファンフォーラムから入手することができます。

- インターネット/リコーホームページ：http://www.ricoh.co.jp/
- @nifty/リコーファンフォーラム：>GO FRICOH↵

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

リコーは環境に配慮し、説明書の印刷に大豆から作られたインキの使用を推進しています。
この説明書はエコマーク商品に認定された再生紙を使用し、リサイクルに配慮し製本しています。この説明書が不要になったときは、資源回収、リサイクルに出しましょう。

2002年1月　G570-8513

IPSiO Color8150 スキャナーユニット タイプ8100対応版　使用説明書〈保守・運用編〉